

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040201010100		事業の種類	5	
年度	2	事務事業名	数量調整円滑化推進事業		予算事業名	数量調整円滑化推進事業	
		まちづくり目標	未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	建設農林部農林水産課	
		施策名(中)	農林水産業の振興を図る		担当課長	長治 宏幸	
		取組み事項	農業経営の安定化と後継者の育成を図る		実施計画への記載	無	
					担当者名	中野 聡	
		実施計画事業名			主要事業の指定	無	
		根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	農家					
	誰(何)を対象として	農家					
	意図(どのような状態にしたいのか)	生産者団体及び行政が一体となって行う生産調整推進活動を通じて水田営農の効率化を実現するとともに地域農業の産地を形成する。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		米の生産数量(作付面積)を調整し、転作作物を作付けすることにより地域農業の産地を形成する。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	水稲作付面積	ha	186	187	186	
	転作実施面積	ha	219	206	188	

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考	
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	0.612	0.528	86	0.547	104		
	臨時職員			-		-		
支出内訳	人件費	4,919,348	4,276,629	87	4,074,110	95		
	事業費	149,000	145,938	98	143,916	99		
	合計	5,068,348	4,422,567	87	4,218,026	95		
財源内訳	国庫支出金			-		-		
	県支出金	119,000	102,000	86	102,000	100		
	市債			-		-		
	その他			-		-		
	一般財源	4,949,348	4,320,567	87	4,116,026	95		
	合計	5,068,348	4,422,567	87	4,218,026	95		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		水稲作付面積						
指標説明(式)		相生市における作付面積						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
ha	目標	198	198	100.0	189	95.5	97.4	
	実績	186	187	100.5	186	99.5		
指標名2		転作実施面積						
指標説明(式)		相生市における作付面積						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
ha	目標	230	220	95.7	220	100.0		
	実績	219	206	94.1	188	91.3		

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	国から配分される米生産目標数値は達成した。	4
	関係(根拠)法令から見た効果	米の作付面積調整により、米価を維持し農地の保全が図られた。	
効率性	手段の最適性	農業経営を安定させるため経営所得安定対策を法令に基づき行った。	4
	執行体制の効率性	営農知識のあるJAや赤相農業共済組合といった関係機関と連携し効率的に行った。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗した。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	経営所得安定対策に協力する必要がある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	営農計画書の様式変更及び農会長提出書類を見直し、事務の簡略化と農家負担軽減を図る。

配点	32.5
総合評価	23

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040201010200	事業の種類	5	
年度	2	事務事業名	夢ある農村づくり推進事業	予算事業名	夢ある農村づくり推進事業	
		まちづくり目標	未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち	担当部局名	建設農林部農林水産課	
		施策名(中)	農林水産業の振興を図る	担当課長	長治 宏幸	
		取組み事項	農業経営の安定化と後継者の育成を図る	担当者名	中野 聡	
			実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名		夢ある農村づくり推進事業				
根拠法規及び関連法規						
事業の目的	誰のために(具体的に)	農家・集落				
	誰(何)を対象として	農家・集落				
	意図(どのような状態にしたいのか)	地元農産物・特産品の生産拡大、販路拡大等の支援や、集落が主体的に行う地域活動を支援することで、地域農業の活性化を図る。				

2 事業の概要 Do

実施の概要		市の特産品の創出や農産物直売所を維持するため、加工・販売施設等の整備、新商品開発支援や各集落活動を支援することで、農業振興を図る。			
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績
	産地づくり補助	団体	5	5	4
	集落活性化補助	集落	2	1	2

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比		備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	0.440	0.424	96	0.500	118		
	臨時職員			-		-		
支出内訳	人件費	3,640,700	3,508,069	96	3,755,920	107		
	事業費	2,742,600	2,779,000	101	2,419,000	87		
	合計	6,383,300	6,287,069	98	6,174,920	98		
財源内訳	国庫支出金			-		-		
	県支出金			-		-		
	市債			-		-		
	その他			-		-		
	一般財源	6,383,300	6,287,069	98	6,174,920	98		
合計	6,383,300	6,287,069	98	6,174,920	98			

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		産地づくり補助団体						
指標説明(式)		産地づくり補助団体						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
団体	目標	8	8	100.0	8	100.0	100.0	
	実績	5	5	100.0	4	80.0		
指標名2		女性農業者団体イベント出店件数						
指標説明(式)		イベント出店件数 (市内 + 市外)						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
件	目標	20	21	105.0	21	100.0		
	実績	20	17	85.0	2	11.8		

【効率性】

指標名1		新商品開発件数(累計)							
指標説明(式)		新商品開発件数(累計)							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
品	目標	15	17	113.3	17	100.0			
	実績	15	15	100.0	20	133.3			
指標名2		産地づくり補助団体1件あたりにかかる事業費							
指標説明(式)		産地づくり事業費 ÷ 補助団体							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	155,000	155,000	100.0	155,000	100.0			
	実績	328,800	374,000	113.7	403,167	107.8			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	女性農業者団体や各種団体がイベント参加により都市と農村との地域交流活動を行い、農業振興と市のPR活動に一定の成果を得られている。	4
	成果の向上	高齢化、人手不足のため、加工品の製造工程に機械を導入することにより、作業効率の向上や、生産拡大、コスト削減が図れ、農業経営体の育成につながった。	
効率性	執行体制の効率性	安定した商品供給や生産拡大ができるよう、県普及センターやJA等関係機関と連携を図った。	4
	手段の最適性	市として特産品となる新商品開発に携わることは適正な手法である。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り進捗した。	4

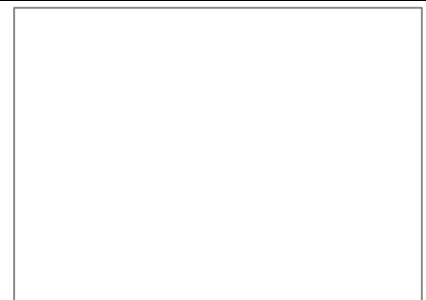
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	対象団体のすべてが活用していない。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	有効に制度を活用してもらえるよう関係者への周知を図る。



配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040201010400		事業の種類	1		
年度	2	事務事業名	農業金融制度利子補給事業		予算事業名	農業金融制度利子補給事業	優先度	3
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	建設農林部農林水産課			
施策名(中)		農林水産業の振興を図る		担当課長	長治 宏幸	担当者名	中野 聡	
取組み事項		農業経営の安定化と後継者の育成を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	農家(認定農業者)						
	誰(何)を対象として	農家(認定農業者)						
	意図(どのような状態にしたいのか)	意欲ある農業者の安定経営を図ることを目的とする。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		融資機関が農業者(認定農業者)に貸し付けた資金について利子補給を行う。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	農業近代化資金	件	0	0	0	
	農業経営基盤強化資金	件	1	0	0	

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比		備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	0.064	0.064	100	0.064	100		
	臨時職員			-		-		
支出内訳	人件費	845,516	847,669	100	804,200	95		
	事業費	0	258	-	0	0		
	合計	845,516	847,927	100	804,200	95		
財源内訳	国庫支出金			-		-		
	県支出金			-		-		
	市債			-		-		
	その他			-		-		
	一般財源	845,516	847,927	100	804,200	95		
合計	845,516	847,927	100	804,200	95			

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		農家の利用件数						
指標説明(式)		借入件数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
件	目標	3	3	100.0	3	100.0	100.0	
	実績	1	0	0.0	0	-		
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
	目標			-		-		
	実績			-		-		

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	農業施設の整備に伴う借入を行う農家が少なかった。	3
	関係(根拠)法令から見た効果	活用した農業者においては、運転資金として効果があった。	
効率性	手段の最適性	農業者への利子補給を補助金として実施するのは効率的である。	3
	執行体制の効率性	県の随伴助成もあり簡素化はされている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	利用者は少ないものの概ね計画通り進捗した。	2

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市民ニーズ	認定農業者が少なく、農業施設整備の頻度がそれほど多くない。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市民ニーズ	制度周知により、農家が設備投資を行いやすい環境を整える。

配点	25
総合評価	14

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040201010500		事業の種類	2		
年度	2	事務事業名	上松農業共同作業所管理事業		予算事業名	上松農業共同作業所管理事業		
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	建設農林部農林水産課			
施策名(中)		農林水産業の振興を図る		担当課長	長治 宏幸		担当者名	中野 聡
取組み事項		農業経営の安定化と後継者の育成を図る		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名		上松農業共同作業所管理運営事業						
根拠法規及び関連法規		相生市立上松農業共同作業所の設置及び管理に関する条例						
事業の目的	誰のために(具体的に)	農家						
	誰(何)を対象として	農家						
	意図(どのような状態にしたいのか)	地域の農業の振興に寄与し、独自で乾燥・糶摺作業ができない農業者の利用に供する。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		地域農業の振興のため、独自で乾燥・糶摺作業ができない農業者のために共同で農機具等を使用する施設の管理を行う。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	乾燥調整量	袋	684	711	688	

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比		備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	0.036	0.036	100	0.036	100		
	臨時職員			-		-		
支出内訳	人件費	637,364	640,749	101	614,640	96		
	事業費	45,450	47,830	105	44,040	92		
	合計	682,814	688,579	101	658,680	96		
財源内訳	国庫支出金			-		-		
	県支出金			-		-		
	市債			-		-		
	その他			-		-		
	一般財源	682,814	688,579	101	658,680	96		
合計	682,814	688,579	101	658,680	96			

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		乾燥調整量						
指標説明(式)		地元の農家等が持ち込んだ糶摺り等の量						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
袋	目標	1,000	1,000	100.0	1,000	100.0		100.0
	実績	684	711	103.9	688	96.8		
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
	目標			-		-		
	実績			-		-		

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	ブロックローテーションの加減で安定的に利用ができないときがある。	3
	組織運営・適正管理	現状の施設規模の範囲内で、最大限の作業を行った。	
効率性	執行体制の効率性	指定管理者による運営とすることで効率的に施設を管理している。	3
	コストの節減	指定管理者による運営とすることでコストの削減が図れている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗した。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	指定管理者と連携し、有効利用を促進する。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	指定管理者と連携し、有効利用を促進する。

配点	25
総合評価	15

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040201010600	事業の種類	6	
年度	2	事務事業名	土地改良事業	予算事業名	土地改良事業	
まちづくり目標	未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	建設農林部農林水産課		
施策名(中)	農林水産業の振興を図る		担当課長	長治 宏幸	担当者名 松下 亮太	
取組み事項	農業経営の安定化と後継者の育成を図る		実施計画への記載	有	主要事業の指定	無
実施計画事業名	その他農林水産(市単土地改良事業)		多面的機能交付金事業			
	ため池整備事業(点検)		ため池整備事業(調査設計)			
	ため池整備事業		ため池廃止事業			
根拠法規及び関連法規		相生市土地改良事業分担金徴収条例				
事業の目的	誰のために(具体的に)	農地受益者				
	誰(何)を対象として	農業用施設				
	意図(どのような状態にしたいのか)	農業用施設の維持、修繕、改修をする。				

2 事業の概要 Do

実施の概要		農業用施設の維持、修繕、改修をする。 ため池調査計画事業の実施(定期点検・耐震化対策整備計画策定) 県営ため池整備事業			
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績
	市単独土地改良工事	地区	12	14	16
	ため池耐震化整備計画	箇所	2		
	ため池定期点検	箇所	57	12	
	県営ため池整備事業	箇所			2

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考	
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	1.256	1.424	113	1.887	133		
	臨時職員		0.080	-	0.080	100		
支出内訳	人件費	9,706,844	11,102,069	114	13,366,128	120		
	事業費	62,457,239	43,420,069	70	72,818,306	168		
	合計	72,164,083	54,522,138	76	86,184,434	158		
財源内訳	国庫支出金	39,144,540	23,862,269	61	26,572,720	111		
	県支出金	10,237,769	5,617,179	55	6,648,611	118		
	市債			-		-		
	その他	1,131,840	1,933,112	171	3,349,160	173		
	一般財源	21,649,934	23,109,578	107	49,613,943	215		
合計	72,164,083	54,522,138	76	86,184,434	158			

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		工事の実施率						
指標説明(式)		工事実施件数÷工事計画件数×100						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100.0	
	実績	98.1	100	101.9	229	229.0		
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
	目標			-		-		
	実績			-		-		

【効率性】

指標名1		年度内予算執行額							
指標説明(式)		年度内予算執行額÷年度内予算額×100							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標	100	100	100.0	100	100.0			
	実績	98.1	100	101.9	97.2	97.2			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	農業用施設の機能回復する。	4
効率性	コストの節減	見積合せ及び一般競争入札により削減が図られている。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市の関与の妥当性	土地改良事業と多面的機能支払い交付金事業との区別を明確に行う。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市の関与の妥当性	要望案件について、地元農会長等と協議を行い、事業主体を一律に市ではなく、地元にも担ってもらう。



配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040201010800		事業の種類	0	
年度	2	事務事業名	農業委員会事務		予算事業名	農業委員会費事務経費 優先度 -	
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	農業委員会農業委員会		
施策名(中)		農林水産業の振興を図る		担当課長	長治 宏幸		担当者名 中野 聡
取組み事項		農業経営の安定化と後継者の育成を図る		実施計画への記載	無		主要事業の指定 無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		農地法、農業委員会等に関する法律					
事業の目的	誰のために(具体的に)	農業及び農地にかかわる市民					
	誰(何)を対象として	農業及び農地にかかわる市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	農地の転用及び権利移転等の適正化、遊休農地の発生防止並びに担い手農業者への農地の集積・集約化等の推進					

2 事業の概要 Do

実施の概要		1. 農地の売買・貸し借りその権利移動等、農地法に定められた規定に基づく事務 2. 農業者年金受給・加入関係書類の受理等の農業者年金基金法に基づく事務 3. 農業委員会委員選挙人名簿登載申請書に基づく事務				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	農地法関係事務	件	107	69	70	
	農業経営基盤強化促進法関係事務	件	158	182	199	
	農業者年金関係事務	件	12	12	12	

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考	
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	1.744	0.980	56	1.040	106		
	臨時職員		1.000	-	0.774	77		
支出内訳	人件費	13,334,636	10,166,909	76	9,542,332	94		
	事業費	9,333,814	8,538,463	91	8,710,113	102		
	合計	22,668,450	18,705,372	83	18,252,445	98		
財源内訳	国庫支出金			-		-		
	県支出金		2,618,569	-	2,691,482	103		
	市債			-		-		
	その他			-		-		
	一般財源	22,668,450	16,086,803	71	15,560,963	97		
合計	22,668,450	18,705,372	83	18,252,445	98			

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		遊休農地面積						
指標説明(式)		農地の利用状況調査により把握した遊休農地面積						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
ha	目標	2.9	3.5	120.7	3.5	100.0	100.0	
	実績	3.9	5.8	148.7	3.1	53.4		
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
	目標			-		-		
	実績			-		-		

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	全国農地ナビの導入により、市内外の農地の情報が一元化され、インターネットを活用して全国から農地の受け手が希望の農地を探せるようになった。	5
	関係(根拠)法令から見た効果	法令に基づく適正な事務の執行を図ることで、農地の保全が図られている。	
効率性	コストの節減	県農業会議の協力の下、周辺他市町の農業委員会と共同で研修会を開催し、コストの節減を図った。	4
	執行体制の効率性	市の農林水産担当業務との兼務により、効率的な業務の執行が図られている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	農家農業者等の利益代表者機関として機能を果たした。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	新体制における効果的な活動体制の確立。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	農地利用最適化推進委員の計画的・効果的な活動内容の検討。

配点	32.5
総合評価	13

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040201011000		事業の種類	3	
年度	2	事務事業名	農業総務費事務経費		予算事業名	農業総務費事務経費 優先度 3	
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	建設農林部農林水産課		
施策名(中)		農林水産業の振興を図る		担当課長	長治 宏幸		担当者名 中野 聡
取組み事項		農業経営の安定化と後継者の育成を図る		実施計画への記載	無		主要事業の指定 無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	農家					
	誰(何)を対象として	農会長ほか、各種団体との連携強化					
	意図(どのような状態にしたいのか)	適切な農業行政の推進					

2 事業の概要 Do

実施の概要		農業行政推進のための基礎的な業務				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	農家戸数	戸	914	920	910	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103	
	参事以下職員	0.292	0.332	114	0.264	80	
	臨時職員			-		-	
支出内訳	人件費	2,540,468	2,828,189	111	2,158,200	76	
	事業費	5,699,860	5,690,720	100	4,894,160	86	
	合計	8,240,328	8,518,909	103	7,052,360	83	
財源内訳	国庫支出金			-		-	
	県支出金			-		-	
	市債			-		-	
	その他			-		-	
	一般財源	8,240,328	8,518,909	103	7,052,360	83	
合計	8,240,328	8,518,909	103	7,052,360	83		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		農家戸数						
指標説明(式)		農家戸数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
戸	目標	920	910	98.9	910	100.0	100.0	
	実績	914	920	100.7	910	98.9		
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
	目標			-		-		
	実績			-		-		

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	農業行政情報を各農会への適時提供できるよう図った。	4
	組織運営・適正管理	円滑な農業行政が図れるよう各種団体と連絡を密にし、業務に当たった。	
効率性	コストの節減	赤相農業共済事務組合(一部事務組合)により、コスト節減が図られている。	4
	執行体制の効率性	農会長と連携しながら、農業振興を図ることで、効率的な情報収集や農業関係情報の周知が図られた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗した。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	総農家数が減少しているなか、各納会との効率的な調整・連携による既存農家や信金就農者の確保が必須となっている。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	各農会長や、農家・新規就農者との良好な調整・連携体制の構築を図る。

配点	25
総合評価	17

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040201011200	事業の種類	1
年度	2	事務事業名	農業振興等奨励事業	予算事業名	農業振興等奨励事業 優先度 3
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	建設農林部農林水産課
施策名(中)		農林水産業の振興を図る		担当課長	長治 宏幸
取組み事項		農業経営の安定化と後継者の育成を図る		担当者名	中野 聡
実施計画事業名		新規就農者確保事業		実施計画への記載	無
				主要事業の指定	無
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	農家			
	誰(何)を対象として	経営所得の安定化や担い手の育成			
	意図(どのような状態にしたいのか)	農業の振興と不耕作地の解消を図る			

2 事業の概要 Do

実施の概要		経営所得安定対策の推進等のための事務費 認定新規就農者の拡大			
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績
	経営所得安定対策加入者	戸	92	95	93
	認定新規就農者	人	2	1	1
	集落営農の法人化		0	0	1
	集落営農の組織化		0	0	0

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考	
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	0.280	0.236	84	0.208	88		
	臨時職員			-		-		
支出内訳	人件費	2,451,260	2,118,749	86	1,779,080	84		
	事業費	28,205,380	16,249,000	58	15,774,785	97		
	合計	30,656,640	18,367,749	60	17,553,865	96		
財源内訳	国庫支出金			-		-		
	県支出金			-		-		
	市債			-		-		
	その他			-		-		
	一般財源	30,656,640	18,367,749	60	17,553,865	96		
合計	30,656,640	18,367,749	60	17,553,865	96			

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		経営所得安定対策加入者						
指標説明(式)		経営所得安定対策への加入者数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
人	目標	500	100	20.0	100	100.0	95.0	
	実績	92	95	103.3	93	97.9		
指標名2		認定新規就農者						
指標説明(式)		市の基本構想に沿って新たに農業経営を開始する45歳未満の青年等						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
人	目標	7	4	57.1	4	100.0		
	実績	2	1	50.0	1	100.0		

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	・農業経営を安定するため作付けに応じた交付を行った。 ・認定新規就農者の増加により、農業の担い手が育成された。	4
	関係(根拠)法令から見た効果	自給率向上のため作付けに応じた交付を行った。	
効率性	手段の最適性	農業経営を安定させるため経営所得安定対策を法令等に基づき行った。	4
	執行体制の効率性	・経営所得安定対策を円滑に運営するためJA、農業委員会及び県と連携を図った。 ・県やJAと連携しながら、担い手の育成を図った。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通り進捗した。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	各種申請様式や制度周知等農家の負担が大きくなっている。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	新規就農者の定着化及び増加を図るため、きめ細やかな連絡体系を確立する。

配点	25
総合評価	17

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040201011300		事業の種類	5	
年度	2	事務事業名	中山間地域等直接支払事業		予算事業名	中山間地域等直接支払事業 優先度 3	
		まちづくり目標	未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	建設農林部農林水産課	
		施策名(中)	農林水産業の振興を図る		担当課長	長治 宏幸 担当者名 中野 聡	
		取組み事項	農業経営の安定化と後継者の育成を図る		実施計画への記載	無 主要事業の指定 無	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		中山間地域直接支払事業補助要綱					
事業の目的	誰のために(具体的に)	農家					
	誰(何)を対象として	農家					
	意図(どのような状態にしたいのか)	農業生産条件の不利な棚田の保全のため、補助を行う。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		国・県の補助金を活用し、補助事業を実施することにより、地域農業の振興を図る					
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績		
	事業実施集落	地区	6	6	6		

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103	
	参事以下職員	0.204	0.212	104	0.204	96	
	臨時職員			-		-	
支出内訳	人件費	1,886,276	1,941,389	103	1,752,000	90	
	事業費	2,815,894	2,844,672	101	2,801,392	98	
	合計	4,702,170	4,786,061	102	4,553,392	95	
財源内訳	国庫支出金			-		-	
	県支出金	2,105,079	2,062,079	98	2,062,835	100	
	市債			-		-	
	その他			-		-	
	一般財源	2,597,091	2,723,982	105	2,490,557	91	
合計	4,702,170	4,786,061	102	4,553,392	95		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		事業実施集落協定数						
指標説明(式)		事業実施集落協定数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
集落協定	目標	6	6	100.0	6	100.0	100.0	
	実績	6	6	100.0	6	100.0		
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
	目標			-		-		
	実績			-		-		

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	集落協定参加者で共同取り組みを行うことで、一定の成果が得られた。	4
	市民サービス	山際の農地を管理することで集落内の環境保全が守られた。	
効率性	負担割合の適正化	各地域において中山間地域直接支払事業対象農地のうち必要最低限の農地について国の制度を活用している。	4
	手段の最適性	集落の農地を守るため集落で協定を結び保全活動を行っている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市民ニーズ	農地管理者の高齢化や担い手不足により集落の負担が大きい。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市民ニーズ	市が適正に制度周知や利活用を促すことで、集落内での負担軽減を図る。

配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040201020100		事業の種類	3	
年度	2	事務事業名	水産業振興費事務経費		予算事業名	水産業振興費事務経費 優先度 3	
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	建設農林部農林水産課		
施策名(中)		農林水産業の振興を図る		担当課長	長治 宏幸		担当者名 中野 聡
取組み事項		水産業経営の安定化を図る		実施計画への記載	無		主要事業の指定 無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	漁業者					
	誰(何)を対象として	漁業者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	漁業者が安心して生活できるよう各種団体と連携し、適切な漁業行政を展開する。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		漁業者が安心して生活できるよう各種団体と連携し、適切な漁業行政を展開する。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	漁業者数	人	50	49	48	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103	
	参事以下職員	0.020	0.020	100	0.020	100	
	臨時職員			-		-	
支出内訳	人件費	518,420	522,509	101	506,320	97	
	事業費	85,640	147,640	172	165,000	112	
	合計	604,060	670,149	111	671,320	100	
財源内訳	国庫支出金			-		-	
	県支出金			-		-	
	市債			-		-	
	その他			-		-	
	一般財源	604,060	670,149	111	671,320	100	
合計	604,060	670,149	111	671,320	100		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		漁業経営体数						
指標説明(式)		漁業経営体数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
経営体	目標	25	25	100.0	25	100.0	100.0	
	実績	24	23	95.8	22	95.7		
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
	目標			-		-		
	実績			-		-		

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	漁業者の安心した生活のため、漁業近代化資金の借入事務について適正な漁業行政を展開し、漁業者数を維持した。	3
効率性	執行体制の効率性	相生漁協と連携し、漁業行政を推進することができた。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗した。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	出資以外の適切な事務分担の把握。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	出資を平成29年度で終えたことにより、事務の軽減に努める。

配点	25
総合評価	15

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040201020200		事業の種類	4	
年度	2	事務事業名	水産業振興事業		予算事業名	水産業振興事業 優先度 3	
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	建設農林部農林水産課		
施策名(中)		農林水産業の振興を図る		担当課長	長治 宏幸		担当者名 中野 聡
取組み事項		水産業経営の安定化を図る		実施計画への記載	無		主要事業の指定 無
実施計画事業名		漁業経営構造改善事業					
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	漁業者					
	誰(何)を対象として	漁業者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	漁業者の安定経営を目的とする					

2 事業の概要 Do

実施の概要		相生カキの安心・安全をPRすることで販売促進を行うため、ノロウィルス等の検査や補助金の交付を行う。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	検査	回	24	24	23	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103	
	参事以下職員	0.068	0.048	71	0.052	108	
	臨時職員			-		-	
支出内訳	人件費	875,252	729,429	83	722,960	99	
	事業費	21,846,000	6,815,000	31	1,000,000	15	
	合計	22,721,252	7,544,429	33	1,722,960	23	
財源内訳	国庫支出金			-		-	
	県支出金			-		-	
	市債			-		-	
	その他			-		-	
	一般財源	22,721,252	7,544,429	33	1,722,960	23	
合計	22,721,252	7,544,429	33	1,722,960	23		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		ノロウィルス等検査実施回数						
指標説明(式)		ノロウィルス等検査実施回数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
件	目標	24	24	100.0	24	100.0	104.2	
	実績	24	24	100.0	23	95.8		
指標名2		補助金支出件数						
指標説明(式)		漁業者が設置・整備する施設に対し補助金を交付した件数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
件	目標	1	1	100.0	0	0.0		
	実績	1	1	100.0	0	0.0		

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	食の安全安心を求める市民の要望に応える事ができている。	3
	成果の向上	相生カキの生産振興により漁業後継者の育成や、漁業者の保護につながった。	
効率性	手段の最適性	定期的なウイルス検査や補助金交付はカキの品質確保の手段として適正である。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	種カキの安定的な確保。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	施設設備等に係る補助事業を実施する。



配点	32.5
総合評価	23

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040201020300	事業の種類	3		
年度	2	事務事業名	漁船保険補助事業	予算事業名	漁船保険補助事業	優先度	3
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	建設農林部農林水産課		
施策名(中)		農林水産業の振興を図る		担当課長	長治 宏幸	担当者名	中野 聡
取組み事項		水産業経営の安定化を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		漁船災害等補償法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	漁業者					
	誰(何)を対象として	漁業者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	漁船につき不慮の事故による損害の復旧を容易にすることで、漁業経営の安定経営を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		漁業者の安定経営を図るため漁船保険に対する補助を行う				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	漁船保険加入者	隻	91	91	89	

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比		備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	0.016	0.016	100	0.016	100		
	臨時職員			-		-		
支出内訳	人件費	488,684	492,949	101	479,240	97		
	事業費	1,900,196	1,887,178	99	1,843,735	98		
	合計	2,388,880	2,380,127	100	2,322,975	98		
財源内訳	国庫支出金			-		-		
	県支出金			-		-		
	市債			-		-		
	その他			-		-		
	一般財源	2,388,880	2,380,127	100	2,322,975	98		
合計	2,388,880	2,380,127	100	2,322,975	98			

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		一隻当たりの保険料額						
指標説明(式)		保険料額/隻						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
円	目標	20,000	20000	100.0	20000	100.0	100.0	
	実績	20881	20738	99.3	20716	99.9		
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
	目標			-		-		
	実績			-		-		

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	漁業者の安定経営を図っており成果としては概ね達成した。	3
	組織運営・適正管理	相生漁協が取りまとめ加入しているため適正に管理された。	
効率性	執行体制の効率性	漁業者の安定経営を図るため相生漁協と連携して取り組んだ。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗した。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	加入促進に向けた制度周知等が必要である。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	漁協との連携により制度周知を図る。

配点	25
総合評価	15

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040201020400		事業の種類	3	
年度	2	事務事業名	漁業近代化資金利子補給事業		予算事業名	漁業近代化資金利子補給事業 優先度 3	
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	建設農林部農林水産課		
施策名(中)		農林水産業の振興を図る		担当課長	長治 宏幸	担当者名	中野 聡
取組み事項		水産業経営の安定化を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		漁業近代化資金融通法					
事業の目的	誰のために(具体的に)	漁業者					
	誰(何)を対象として	漁業者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	低金利の同制度を活用することで、漁業者の資本装備の高度化及び経営の近代化を促進する。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		漁業者の安定経営を図るため漁業者が借り入れた資金に対して利子補給を行う					
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績		
	利子補給件数	人	20	14	6		

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考	
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	0.016	0.016	100	0.016	100		
	臨時職員			-		-		
支出内訳	人件費	488,684	492,949	101	479,240	97		
	事業費	453,800	252,202	56	147,886	59		
	合計	942,484	745,151	79	627,126	84		
財源内訳	国庫支出金			-		-		
	県支出金			-		-		
	市債			-		-		
	その他			-		-		
	一般財源	942,484	745,151	79	627,126	84		
合計	942,484	745,151	79	627,126	84			

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		利子補給利用率							
指標説明(式)		利子補給利用者／漁業者(49名)							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		前年比	備考
%	目標	20	20	100.0	20	100.0		100.0	
	実績	38	28	73.7	13	46.4			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	漁業の活性化を図るため利子補給をすることで漁業者の経営の安定化が図れた。	4
	組織運営・適正管理	兵庫県漁連と連携し漁業者の経営を安定することができた。	
効率性	執行体制の効率性	漁業者の経営を安定するため相生漁協及び兵庫県漁連と連携を図った。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗した。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	漁船の大型化、高度化に伴い設備負担が大きくなっている。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	漁業者の負担軽減に向けた施策の在り方について関係団体と検討した。



配点	25
総合評価	17

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040201020500		事業の種類	3	
年度	2	事務事業名	水産物市場管理事業		予算事業名	水産物市場管理事業 優先度 3	
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	建設農林部農林水産課		
施策名(中)		農林水産業の振興を図る		担当課長	長治 宏幸		担当者名 中野 聡
取組み事項		水産業経営の安定化を図る		実施計画への記載	有		主要事業の指定 無
実施計画事業名		水産物市場整備事業					
根拠法規及び関連法規		相生市立水産物市場の設置及び管理に関する条例及び同条例施行規則					
事業の目的	誰のために(具体的に)	漁業者					
	誰(何)を対象として	地域水産物及び特産品の振興と販売促進					
	意図(どのような状態にしたいのか)	担い手漁業者の確保及び育成を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		建物及び附帯設備の修繕等に対応するほか、指定管理者と連携し、水産物市場の適正かつ円滑な運営を図る。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	修繕件数	件	5	6	3	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103	
	参事以下職員	0.068	0.108	159	0.048	44	
	臨時職員			-		-	
支出内訳	人件費	875,252	1,172,829	134	695,880	59	
	事業費	2,161,996	1,064,722	49	3,654,429	343	
	合計	3,037,248	2,237,551	74	4,350,309	194	
財源内訳	国庫支出金			-		-	
	県支出金			-		-	
	市債			-		-	
	その他			-	600,000	-	
	一般財源	3,037,248	2,237,551	74	3,750,309	168	
合計	3,037,248	2,237,551	74	4,350,309	194		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		修繕件数						
指標説明(式)		水産物市場における修繕発注件数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
件	目標	3	3	100.0	4	133.3		100.0
	実績	5	6	120.0	3	50.0		
指標名2		集客数						
指標説明(式)		水産物市場年間利用客数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
人	目標	66,000	66,000	100.0	66,000	100.0		
	実績	47,737	45,949	96.3	17,474	38.0		

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	集計方法の変更により利用客は減少しているが、売上は伸びている。	3
	組織運営・適正管理	水産物市場としての機能及び漁業者への貢献度は低い。	
効率性	コストの節減	指定管理者制度により委託料を無料としていることからコストの削減を図っている。	4
	執行体制の効率性	指定管理者制度を活用し、民間の経営ノウハウによる効率的な運営を行った。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	県による港湾使用許可に関する指導については、是正を行った。	2

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	施設の維持修繕費について、計画的な執行によるコスト削減が必要。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	適切な指導を行い、指定管理者に対して適正な施設運営を求めていく。

配点	25
総合評価	15

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040201030100		事業の種類	5	
年度	2	事務事業名	林業振興事業		予算事業名	林業振興事業	
まちづくり目標	未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	建設農林部農林水産課			
施策名(中)	農林水産業の振興を図る		担当課長	長治 宏幸	担当者名	松下 亮太	
取組み事項	林業の振興を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	林業教室受講者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	林業製品の加工技術の取得					

2 事業の概要 Do

実施の概要		林業教室の補助金					
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績		
	補助金	団体	1	1	1		

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103	
	参事以下職員	0.092	0.148	161	0.168	114	
	臨時職員		0.004	-	0.004	100	
支出内訳	人件費	1,053,668	1,478,629	140	1,519,291	103	
	事業費	23,101,696	17,053,550	74	473,227	3	
	合計	24,155,364	18,532,179	77	1,992,518	11	
財源内訳	国庫支出金			-	0	-	
	県支出金			-	0	-	
	市債			-	0	-	
	その他			-	0	-	
	一般財源	24,155,364	18,532,179	77	1,992,518	11	
合計	24,155,364	18,532,179	77	1,992,518	11		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		林業教室の開催割合						
指標説明(式)		年間開催実績回数 ÷ 年間予定回数(60) × 100						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0	100.0	
	実績	180	162	90.0	270	166.7		
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
	目標			-		-		
	実績			-		-		

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	目標以上の達成をしている。	4
	市民サービス	参加者が固定化しつつある。	
効率性	負担割合の適正化	補助対象回数以上の教室開催を行っている。 (補助対象回数 60回 教室開催回数 153回)	4
	手段の最適性	林産物の活用及び地域産業の伝承と、その後継者育成のためには、有効な手段である。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	補助対象以上に教室を開催している。	5

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	林研グループの高齢化

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	新たなグループ員の加入を促進

配点	32.5
総合評価	25

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040201030200		事業の種類	
年度	2	事務事業名	森林経営管理事業		予算事業名	優先度
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	建設農林部農林水産課	
施策名(中)		農林水産業の振興を図る		担当課長	担当者名	
取組み事項		林業の振興を図る		実施計画への記載	主要事業の指定	
実施計画事業名		森林経営管理事業				
根拠法規及び関連法規						
事業の目的	誰のために(具体的に)					
	誰(何)を対象として					
	意図(どのような状態にしたいのか)					

2 事業の概要 Do

実施の概要						
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	

3 投入資源

		会計区分						事業費単位:円
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比		備考
人員	部長以上職員	0.000	0.000	-	0.030	-		
	参事以下職員			-		-		
	臨時職員			-		-		
支出内訳	人件費			-	370,920	-		
	事業費			-		-		
	合計			-	370,920	-		
財源内訳	国庫支出金			-		-		
	県支出金			-		-		
	市債			-		-		
	その他			-		-		
	一般財源			-	370,920	-		
	合計			-	370,920	-		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
	目標			-		-		
	実績			-		-		
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
	目標			-		-		
	実績			-		-		

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性			
効率性			
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容

配点	32.5
総合評価	0

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040201040100		事業の種類	2	
年度	2	事務事業名	ふれあい公園管理事業		予算事業名	ふれあい公園管理事業 優先度 3	
		まちづくり目標	未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	建設農林部農林水産課	
		施策名(中)	農林水産業の振興を図る		担当課長	長治 宏幸 担当者名 松下 亮太	
		取組み事項	交流拠点の活用とネットワーク化を促進する		実施計画への記載	無 主要事業の指定 無	
		実施計画事業名					
		根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	公園内の清掃及び除草					

2 事業の概要 Do

実施の概要		若狭野ふれあい公園の清掃、除草委託			
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績
	園内清掃除草	件	1	1	1

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考	
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	0.044	0.036	82	0.036	100		
	臨時職員		0.008	-	0.008	100		
支出内訳	人件費	696,836	661,149	95	636,662	96		
	事業費	617,903	629,575	102	684,825	109		
	合計	1,314,739	1,290,724	98	1,321,487	102		
財源内訳	国庫支出金			-	0	-		
	県支出金			-	0	-		
	市債			-	0	-		
	その他			-	0	-		
	一般財源	1,314,739	1,290,724	98	1,321,487	102		
合計		1,314,739	1,290,724	98	1,321,487	102		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		委託件数						
指標説明(式)		委託件数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
件数	目標	1	1	100.0	1	100.0	100.0	
	実績	1	1	100.0	1	100.0		
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
	目標			-		-		
	実績			-		-		

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	公園整備、管理により一層の利活用が図られる。	4
	組織運営・適正管理	地元に委託し、管理することにより地元住民も地元の公園であるという意識が醸成され、公園利用に関しても関心が持てる。	
効率性	コストの節減	地元に清掃等を委託することにより、コスト縮減となっている。	4
	執行体制の効率性	十分効率的に行なわれている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	関係自治会により、適正に管理が行われているが、トイレ等の施設の老朽化が進みつつある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	限りある予算内で、最適な手法を用いて維持管理に努めていく。

配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040201050100		事業の種類	5	
年度	2	事務事業名	6次産業化ネットワーク活動事業		予算事業名	優先度	
		まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち	担当部局名	建設農林部農林水産課	
		施策名(中)		農林水産業の振興を図る	担当課長	長治 宏幸	
		取組み事項		地域特産物の充実を図る	担当者名	中野 聡	
				実施計画への記載	無		主要事業の指定
				無			
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		地域資源を活用した農林漁業者等による新事業の創出等及び地域の農林水産物の利用促進に関する法律					
事業の目的	誰のために(具体的に)	農業者及び水産業者					
	誰(何)を対象として	6次産業化の取組					
	意図(どのような状態にしたいのか)	地域資源を活用した新たな付加価値を生み出すことで、収益力を高め、地産地消として地域の活性化や雇用の創出を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		<ul style="list-style-type: none"> ・6次産業化を推進するための計画策定(改定を含む) ・6次産業化の取組に対する助成 			
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績
	補助事業の実施	件	0	0	0

3 投入資源

		会計区分			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103	
	参事以下職員	0.008	0.008	100	0.008	100	
	臨時職員			-		-	
支出内訳	人件費	429,212	433,829	101	425,080	98	
	事業費			-		-	
	合計	429,212	433,829	101	425,080	98	
財源内訳	国庫支出金			-		-	
	県支出金			-		-	
	市債			-		-	
	その他			-		-	
	一般財源	429,212	433,829	101	425,080	98	
合計	429,212	433,829	101	425,080	98		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		6次産業化に取り組む事業者数						
指標説明(式)		6次産業化・地産地消法第5条に基づく総合化事業計画の認定を受け、6次産業化に取り組んでいる事業者						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
件	目標	2	1	50.0	1	100.0	100.0	
	実績	1	1	100.0	1	100.0		
指標名2		6次産業化の取組で生産販売する商品数						
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
品	目標	15	15	100.0	15	100.0		
	実績	13	13	100.0	13	100.0		

【効率性】

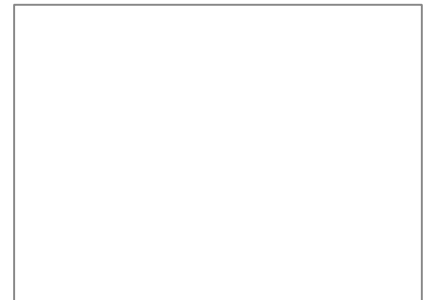
指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	平成27年8月11日に制定した「相生市における6次産業化及び地産地消を推進するための戦略」に基づいて、メロンシャーベットやゆず味噌シフォンケーキが商品化された。	4
	市民サービス	新たな商品開発と収益向上の取組により、女性や高齢者の労働意欲、生きがいづくりにつながった。	
効率性	手段の最適性	「相生市における6次産業化及び地産地消を推進するための戦略」に基づき、計画的な事業実施を図った。	4
	コストの節減	国・県の補助事業を活用することで、市の費用負担を減らし、効率的な事業実施に努めた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	平成30年度より新たに「野瀬かんぴょう」の栽培・育成に取り掛かるなど、概ね順調である。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	安定的な原材料を確保する。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	商品の売り上げは拡大傾向であり、生産拡大に向けた経営体の組織強化を図る。

配点	32.5
総合評価	26

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040202010300		事業の種類	5	
年度	2	事務事業名	商工業対策事業		予算事業名	商工業対策事業 優先度 3	
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部地域振興課		
施策名(中)		商業・サービス業の活性化を図る		担当課長	宮下 忠和		担当者名 中谷 有輝
取組み事項		魅力ある商業集積を図る		実施計画への記載	無		主要事業の指定 無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	県下の特産商工業者					
	誰(何)を対象として	兵庫県物産協会が行う特産商工業振興事業					
	意図(どのような状態にしたいのか)	地域産業を振興することにより、活力ある豊かな地域経済を形成し、県民の生活向上を実現する。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		兵庫県物産協会の運営に対し、県下市町が負担金を支出することにより運営に共同参画する。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	兵庫県物産協会負担金	円	25000	26000	26000	

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比		備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	0.104	0.104	100	0.104	100		
	臨時職員			-		-		
支出内訳	人件費	1,142,876	1,143,269	100	1,075,000	94		
	事業費	28,880	28,680	99	26,000	91		
	合計	1,171,756	1,171,949	100	1,101,000	94		
財源内訳	国庫支出金			-		-		
	県支出金			-		-		
	市債			-		-		
	その他			-		-		
	一般財源	1,171,756	1,171,949	100	1,101,000	94		
合計	1,171,756	1,171,949	100	1,101,000	94			

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		「ひょうごふるさと館」販売状況						
指標説明(式)		「ひょうごふるさと館」イベントコーナー販売延べ日数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
点	目標	1000	1000	100.0	1000	100.0	0.0	
	実績	1015	1093	107.7	1120	102.5		
指標名2		「ひょうごふるさと館」販売状況						
指標説明(式)		「ひょうごふるさと館」イベントコーナー販売額						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
千円	目標	50000	50000	100.0	50000	100.0		
	実績	53488	42253	79.0	27353	64.7		

【効率性】

指標名1		「ひょうごふるさと館」イベントコーナー1日当り販売額							
指標説明(式)		年間販売額÷販売延べ日数							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	50000	50000	100.0	50000	100.0			
	実績	52698	38658	73.4	24423	63.2			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	市町・各種団体・企業等が協働で行うスケールメリットを活かし、県下はもとより広く全国に兵庫県の物産を宣伝紹介するとともに、販売促進及び販路拡事業に取り組み、特産商工業の振興発展に寄与している。	4
効率性	負担割合の適正化	財政規模に応じた負担となっている。	4
	手段の最適性	市町・各種団体・企業等で構成される本協会が事業主体となることで、効果的に事業を運営できている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	財政規模に応じた負担において地域産業を振興するための活動ができている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市の関与の妥当性	市内特産品の取扱い数が少ない。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市の関与の妥当性	市内特産品製造・販売者へ本協会の活動内容の周知を図る。

配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040202010400		事業の種類	5	
年度	2	事務事業名	地場産業振興センター事業		予算事業名	地場産業振興センター事業	
		まちづくり目標	未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部地域振興課	
		施策名(中)	商業・サービス業の活性化を図る		担当課長	宮下 忠和	
		取組み事項	魅力ある商業集積を図る		担当者名	中谷 有輝	
					実施計画への記載	無	
					主要事業の指定	無	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	西播磨の地場産業関連企業					
	誰(何)を対象として	(公財)姫路・西はりま地場産業センター					
	意図(どのような状態にしたいのか)	西播磨の地場産業の健全な育成及び発展に貢献し、活力ある地域経済社会の形成、地域住民の生活向上及び福祉の増大に寄与すること。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		西播磨の地場産業業者等に対する支援機関である(公財)姫路・西はりま地場産業センターの運営に対し、姫路市を中心に関係市町が負担金を支出することにより支援を行う。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	地場産業振興センター事業負担金	円	284000	284000	283000	

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比		備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	0.028	0.028	100	0.028	100		
	臨時職員			-		-		
支出内訳	人件費	577,892	581,629	101	560,480	96		
	事業費	284,000	284,000	100	283,000	100		
	合計	861,892	865,629	100	843,480	97		
財源内訳	国庫支出金			-		-		
	県支出金			-		-		
	市債			-		-		
	その他			-		-		
	一般財源	861,892	865,629	100	843,480	97		
	合計	861,892	865,629	100	843,480	97		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		特産品販売所播産館の売上						
指標説明(式)		売上高(千円)						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
千円	目標	50000	50000	100.0	50000	100.0		0.0
	実績	57827	57266	99.0	35051	61.2		
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
	目標			-		-		
	実績			-		-		

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	中・西播磨の特産品をPRしており、それぞれの地域に与える影響や売上額、誘客にもつながっている。また、販売実績等もある程度確保しており、目的は達成している。	4
効率性	負担割合の適正化	人口比率、売上高に応じた負担である。	3
	手段の最適性	姫路市を中心に各市町で構成される本センターが事業主体となることで、効果的に事業を運営できている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	西播磨の地場産業を振興するための活動ができている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	販売する特産品の数が自治体毎にバラつきがあり、当市の品数は少ない。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	市内特産品について播産館へ積極的にPRを行う。

配点	32.5
総合評価	23

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040202010500		事業の種類	5	
年度	2	事務事業名	商業共同施設補助事業		予算事業名	優先度	
		まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち	担当部局名	市民生活部地域振興課	
		施策名(中)		商業・サービス業の活性化を図る	担当課長	宮下 忠和	担当者名
		取組み事項		魅力ある商業集積を図る	実施計画への記載	無	主要事業の指定
					無		
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市共同施設補助金交付規則					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市内商店街組織					
	誰(何)を対象として	商店街共同施設					
	意図(どのような状態にしたいのか)	商業の活性化					

2 事業の概要 Do

実施の概要		相生市の商業者が組織する団体で共同施設(街路灯、カラー舗装、アーケード等)を設置する者に対し、設置に対する費用を補助し、商業振興を図る。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	補助実績	円	0	0	0	

3 投入資源

		会計区分			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103	
	参事以下職員	0.004	0.004	100		0	
	臨時職員			-		-	
支出内訳	人件費	399,476	404,269	101	370,920	92	
	事業費			-		-	
	合計	399,476	404,269	101	370,920	92	
財源内訳	国庫支出金			-		-	
	県支出金			-		-	
	市債			-		-	
	その他			-		-	
	一般財源	399,476	404,269	101	370,920	92	
合計	399,476	404,269	101	370,920	92		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		補助件数						
指標説明(式)		件数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
件	目標	0	0	-	0	-	-	
	実績	0	0	-	0	-		
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
	目標			-		-	-	
	実績			-		-		

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	商店街のハード面の整備に支援を行うことは、商店街の活性化を図るのに有効である。	3
効率性	負担割合の適正化	補助率(補助対象経費の1/3以内、限度額2,000万円)は適正と考える。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	県の随伴事業であり、29年度はほんまち商店街にLED街路灯55基を設置、相生駅前商店街にLED街路灯13基を設置するのに補助を行った。30年度以降は補助申請なし。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	商店街は、人の流れにより徐々に形成されてきたもので、人の流れが少なくなった状況においては現状を維持することも難しい状況にある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市の関与の妥当性	ハード整備の補助としての役割を担っており、制度の継続は必要である。



配点	32.5
総合評価	19.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040202010600	事業の種類	5		
年度	2	事務事業名	地域振興事業	予算事業名	地域振興事業	優先度	3
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部地域振興課		
施策名(中)		商業・サービス業の活性化を図る		担当課長	宮下 忠和	担当者名	中谷 有輝
取組み事項		魅力ある商業集積を図る		実施計画への記載		主要事業の指定	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	新型コロナウイルスにより影響を受ける市内事業者及び市民					
	誰(何)を対象として	新型コロナウイルスにより影響を受ける市内事業者及び市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	市民への消費喚起及び事業者支援により新型コロナウイルスによる影響を緩和する。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		新型コロナウイルスの影響により売上が減少した事業者への支援金の支給や自粛要請により行動が制限される市民に対し、休業要請等で影響を受ける飲食店や宿泊施設の利用を促進することで、新型コロナウイルスによる影響を緩和する。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	経営継続事業者支援金支給件数	件	-	-	389	
	プレミアム付食事券取扱店舗数	店舗	-	-	85	
	宿泊キャンペーン利用人数	人	-	-	10451	
	観光施設利用チケット使用数	枚	-	-	11846	

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比		備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員		0.088	-	0.756	859		
	臨時職員			-		-		
支出内訳	人件費	369,740	1,025,029	277	5,489,040	536		
	事業費	0	95,002,249	-	86,176,000	91		
	合計	369,740	96,027,278	25,972	91,665,040	95		
財源内訳	国庫支出金		34,446,800	-		0		
	県支出金			-		-		
	市債			-		-		
	その他		60,768,000	-		0		
	一般財源	369,740	812,478	220	91,665,040	11,282		
	合計	369,740	96,027,278	25,972	91,665,040	95		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		相生市経営継続事業者支援金支給件数						
指標説明(式)		支給件数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
件	目標	-	-	-	883	-	0.0	
	実績	-	-	-	389	-		
指標名2		観光施設応援チケット利用枚数						
指標説明(式)		利用枚数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
枚	目標	-	-	-	20000	-		
	実績	-	-	-	11846	-		

【効率性】

指標名1		相生市経営継続事業者支援金申請率							
指標説明(式)		(申請件数/対象事業者数) × 100							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
%	目標	-	-	-	50.0	-			
	実績	-	-	-	22.0	-			
指標名2		観光施設応援チケット利用率							
指標説明(式)		(利用枚数/配布枚数) × 100							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
%	目標	-	-	-	75.3	-			
	実績	-	-	-	44.6	-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	各種支援策について必要な時期に適切に実施することができた。	4
	市民サービス	新型コロナウイルスの影響により市民の遠方への観光が制限されている中、市内宿泊施設や観光施設の利用を促すことで、市民の市内観光の促進に繋がった。	
効率性	手段の最適性	緊急性の高い事業者支援施策を早期に実施し、その後に観光支援施策を実施するなど、事業の実施時期を工夫した。	5
	執行体制の効率性	事業者への支援策については、相生商工会議所と相生民主商工会の両経済団体と協力し、市民への観光支援については、相生市観光協会と協力して事業を実施することで、対象者への事業周知やPRを迅速に行うことができた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	各種支援策について必要な時期に適切に実施することができた。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	支援対象となる業種が飲食店や宿泊施設など一部限定的であった。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	より幅広い業種の事業者へ支援が行き渡るよう新たな施策を検討する。

配点	32.5
総合評価	26.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040202010700		事業の種類	5		
年度	2	事務事業名	商店街空店舗等活用事業		予算事業名	商店街空店舗等活用事業	優先度	3
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部地域振興課			
施策名(中)		商業・サービス業の活性化を図る		担当課長	宮下 忠和	担当者名	中谷 有輝	
取組み事項		魅力ある商業集積を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		相生市商店街空き店舗等活用事業補助金交付要綱						
事業の目的	誰のために(具体的に)	市内の商業者						
	誰(何)を対象として	新規に市内商店街の空店舗で事業をされる商業者						
	意図(どのような状態にしたいのか)	新規開業より3年間家賃補助を行うことで、開業時の負担軽減を図り新規創業を促す。また、商店街への新規出店を促し、商店街の活性化に繋げる。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		市内商店街の振興と創業支援を図るため、市内5商店街で空き店舗を借り上げ出店する者に対し、予算の範囲内において経費の一部を対象に補助金を交付する。			
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績
	新規開業者(補助)	店	1	1	2
	出店維持数	店	16	16	16
	商店街店舗数(旭)	店	217	214	214
商店街空店舗(旭)	店	77	83	83	

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考	
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	0.104	0.104	100	0.104	100		
	臨時職員			-		-		
支出内訳	人件費	1,142,876	1,143,269	100	1,075,000	94		
	事業費	909,000	596,000	66	765,000	128		
	合計	2,051,876	1,739,269	85	1,840,000	106		
財源内訳	国庫支出金			-		-		
	県支出金			-		-		
	市債			-		-		
	その他			-		-		
	一般財源	2,051,876	1,739,269	85	1,840,000	106		
合計	2,051,876	1,739,269	85	1,840,000	106			

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		新規出店数						
指標説明(式)		数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
店	目標	1	1	100.0	1	100.0	0.0	
	実績	1	1	100.0	2	200.0		
指標名2		旭地区3商店街の空き店舗率						
指標説明(式)		空き店舗数÷旭3商店街(中央通り商店会、本町商店街、旭センター街)店舗数×100						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
%	目標	30	30	100.0	30	100.0		
	実績	35.5	38.8	109.3	38.8	100.0		

【効率性】

指標名1		補助店舗の営業継続率							
指標説明(式)		営業継続店舗数÷補助店舗×100							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標	73.9	70	94.7	70	100.0			
	実績	69.6	66.7	95.8	61.5	92.2			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	多額の資金を要する開業時に家賃を補助することで、創業希望者の開業意欲の向上を図り新規創業を促すための事業であるが、毎年実績をあげており一定の効果が認められる。	3
	成果目標(改善)達成度	商店街の空き店舗解消の面では、新規出店数2件が既存店舗の空店舗化件数6件を下回る状況にあり目標達成に至っていない。	
効率性	負担割合の適正化	今後、利用状況等を検討したうえで、補助限度額、補助期間の見直しを図る必要がある。	4
	手段の最適性	空店舗対策について抜本的な対策がない中、空き店舗の増加を止める手段としては最適である。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	2件の新規補助者があった。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	大店舗化、ネット購買、駐車場問題、人口減少等により商店街が衰退する中、商店街での経営継続は困難な状況である。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	空店舗バンクを活用し、新規創業者へ情報提供することでニーズに合った店舗への出店を促し、成果に繋げる。



配点	32.5
総合評価	23

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040202010900	事業の種類	4
年度	2	事務事業名	商店街活性化事業	予算事業名	商店街活性化事業
		まちづくり目標	未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち	担当部局名	市民生活部地域振興課
		施策名(中)	商業・サービス業の活性化を図る	担当課長	宮下 忠和
		取組み事項	魅力ある商業集積を図る	担当者名	中谷 有輝
				実施計画への記載	
				主要事業の指定	
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	商店主			
	誰(何)を対象として	商店主			
	意図(どのような状態にしたいのか)	商店主に将来的な商店街のあり方について調査し、市、商工会議所、商店連合会とが連携しながら商店街の方向性を協議し、今後の事業の計画を立案する。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		商店主への調査をもとに立案した計画に基づいて商店街の活性化に向けた各種セミナーの実施や空き店舗バンクの更新を行う。			
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績
	商店連合会加盟数	店	112	105	96

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103	
	参事以下職員	0.132	0.132	100	0.132	100	
	臨時職員			-		-	
支出内訳	人件費	1,351,028	1,350,189	100	1,264,560	94	
	事業費	150,000	150,000	100	150,000	100	
	合計	1,501,028	1,500,189	100	1,414,560	94	
財源内訳	国庫支出金			-		-	
	県支出金			-		-	
	市債			-		-	
	その他			-		-	
	一般財源	1,501,028	1,500,189	100	1,414,560	94	
合計	1,501,028	1,500,189	100	1,414,560	94		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		商店連合会加盟店舗数						
指標説明(式)		加盟店舗数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
件	目標	120	115	95.8	110	95.7	0.0	
	実績	112	105	93.8	96	91.4		
指標名2		商店街空き店舗バンク登録数						
指標説明(式)		登録店舗数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
件	目標	15	15	100.0	15	100.0		
	実績	17	20	117.6	19	95.0		

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	商店街の空き店舗状況を把握し更新することで、新規創業者等への正確な情報を提供することができている。	3
効率性	手段の最適性	市内の商店街の状況把握及び支援を行っている相生商工会議所に事業を委託することで効率的で効果的な事業を実施できている。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	実態を反映した空き店舗バンクHP作成と更新ができている。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	空き店舗バンク登録店舗を新規創業者等に対して効果的に周知することが難しい。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	商店街空き店舗補助や創業支援と連携して、空き店舗バンクの適切な広報手段を検討する。

配点	32.5
総合評価	19.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	04020202100		事業の種類	5	
年度	2	事務事業名	商工会議所振興事業		予算事業名	商工会議所振興事業 優先度 3	
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部地域振興課		
施策名(中)		商業・サービス業の活性化を図る		担当課長	宮下 忠和		担当者名 中谷 有輝
取組み事項		事業者による経営革新的な取り組みを支援する		実施計画への記載	無		主要事業の指定 無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市内の商工業者					
	誰(何)を対象として	相生商工会議所					
	意図(どのような状態にしたいのか)	市内商工業に円滑な経営の補助活動を行う商工会議所の運営に対し補助を行うことで、市内経済の安定・発展に努める。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		相生商工会議所事業である地域中小企業相談所事業、商業活性化対策事業、産業技術大学相生教室事業、景気動向調査等に対し補助を行う。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	会員数(個人)	件	313	284	278	
	会員数(法人)	件	349	363	361	

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比		備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	0.052	0.052	100	0.052	100		
	臨時職員			-		-		
支出内訳	人件費	756,308	758,989	100	722,960	95		
	事業費	6,196,000	6,133,000	99	6,071,000	99		
	合計	6,952,308	6,891,989	99	6,793,960	99		
財源内訳	国庫支出金			-		-		
	県支出金			-		-		
	市債			-		-		
	その他			-		-		
	一般財源	6,952,308	6,891,989	99	6,793,960	99		
合計	6,952,308	6,891,989	99	6,793,960	99			

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		会員数(個人)						
指標説明(式)		件						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
件	目標	350	350	100.0	350	100.0		0.0
	実績	313	284	90.7	278	97.9		
指標名2		会員数(法人)						
指標説明(式)		件						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
件	目標	370	370	100.0	370	100.0		
	実績	349	363	104.0	361	99.4		

【効率性】

指標名1		会員あたりの補助金額							
指標説明(式)		補助金額/会員数							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	8606	8518	99.0	8431	99.0			
	実績	9360	9480	101.3	9501	100.2			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	コロナ禍において市内商工業者の経営が困難な状況下において、これを克服すべく様々な事業に取り組んでいる。	4
効率性	手段の最適性	市内商工業者の状況及び支援方法に精通する、相生商工会議所を通じて支援を行うことが最も適している。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	厳しい経済状況を反映し、会員数は微減を続けているが、商工業者支援の様々な事業に取り組んでいる。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	新型コロナウイルスの影響により市内商工業者の経営状況は依然として厳しい状況にある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	相生商工会議所とより連携し、市内商工業者に対しより適切で効果のある支援を実施する。



配点	32.5
総合評価	25.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040202020300		事業の種類	4		
年度	2	事務事業名	創業支援事業		予算事業名	創業支援事業	優先度	3
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部地域振興課			
施策名(中)		商業・サービス業の活性化を図る		担当課長	宮下 忠和	担当者名	中谷 有輝	
取組み事項		事業者による経営革新的な取り組みを支援する		実施計画への記載	無	主要事業の指定		
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	市内の創業希望者						
	誰(何)を対象として	市内の創業希望者						
	意図(どのような状態にしたいのか)	新しい事業のアイデアや意欲を持つ者に対して、関係する機関が連携し、適時の専門的相談や情報の提供、セミナーの開催等、総合的な創業支援を行い、創業の促進を図る。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		相生市、相生商工会議所、国民政策金融公庫、NPO法人ひと・まち・あーとの4社と市内金融機関で「相生市創業支援ネットワーク」を構築し、支援の連携と情報の共有により効果的に創業者を支援する。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	創業相談者数	人	8	16	12	
	新規創業者数	人	2	2	7	
	創業塾受講者数	人	11	11	11	
	創業塾受講者延数	人	50	50	55	

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考	
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	0.100	0.100	100	0.100	100		
	臨時職員			-		-		
支出内訳	人件費	1,113,140	1,113,709	100	1,047,920	94		
	事業費	527,120	515,320	98	502,680	98		
	合計	1,640,260	1,629,029	99	1,550,600	95		
財源内訳	国庫支出金			-		-		
	県支出金			-		-		
	市債			-		-		
	その他			-		-		
	一般財源	1,640,260	1,629,029	99	1,550,600	95		
合計	1,640,260	1,629,029	99	1,550,600	95			

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		創業塾受講者延人数						
指標説明(式)		受講者延人数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
人	目標	50	50	100.0	50	100.0	0.0	
	実績	50	50	100.0	55	110.0		
指標名2		新規創業者数						
指標説明(式)		新規創業者数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
人	目標	2	2	100.0	2	100.0		
	実績	2	2	100.0	7	350.0		

【効率性】

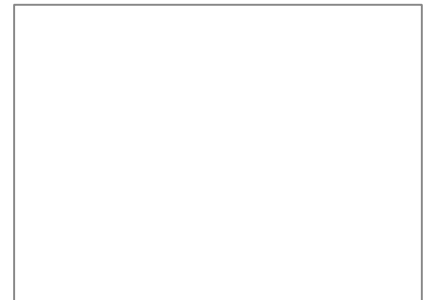
指標名1		創業塾受講者延人数あたりのコスト							
指標説明(式)		事業費(人件費含む)÷受講者延人数							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	32583	32595	100.0	31179	95.7			
	実績	32806	32581	99.3	28193	86.5			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	創業塾の受講者は例年目標数に達成している。実施時期や実施メニューなど創業希望者がより参加しやすい内容をの検討していく。	4
効率性	手段の最適性	市内の商工業の状況及び支援方法に精通する関係団体と連携し、創業者支援を行うことでよりきめ細かな支援が実施できている。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	厳しい経済状況の中であるが、多くの創業相談を行い、創業者支援を行っている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	創業相談者が求める内容を反映するなど、創業相談から創業塾へ繋がるような事業展開が必要である。



7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	より幅広い市民ニーズに対応できるよう、創業塾の内容について実施時期時間等も含めて検討する。

配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040203010100		事業の種類	5	
年度	2	事務事業名	観光協会推進事業		予算事業名	観光協会推進事業 優先度 3	
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部地域振興課		
施策名(中)		観光の振興を図る		担当課長	宮下 忠和		担当者名 中谷 有輝
取組み事項		観光客を受け入れる体制を充実する		実施計画への記載	無		主要事業の指定 無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民・観光客					
	誰(何)を対象として	市民・観光客					
	意図(どのような状態にしたいのか)	観光関係団体への補助を通して、相生市の観光PR活動を促進していく					

2 事業の概要 Do

実施の概要		観光事業を実施する観光協会の各種事業の補助金とみなとの女王の選出及び活用についての運営費への補助。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	観光入込客数	人	615600	606867	381919	
	観光協会会員数	個人・団体	211	203	194	

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考	
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	0.196	0.192	98	0.184	96		
	臨時職員			-	0.004	-		
支出内訳	人件費	1,826,804	1,793,589	98	1,627,611	91		
	事業費	2,950,000	2,950,000	100	3,513,964	119		
	合計	4,776,804	4,743,589	99	5,141,575	108		
財源内訳	国庫支出金			-		-		
	県支出金			-		-		
	市債			-		-		
	その他			-		-		
	一般財源	4,776,804	4,743,589	99	5,141,575	108		
合計	4,776,804	4,743,589	99	5,141,575	108			

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		観光入込客数						
指標説明(式)		観光入込客数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
人	目標	640000	640000	100.0	640000	100.0		0.0
	実績	615600	606867	98.6	381919	62.9		
指標名2		観光協会会員数						
指標説明(式)		会員数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
個人・団体	目標	230	230	100.0	230	100.0		
	実績	211	203	96.2	194	95.6		

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
部	目標			-		-			
	実績			-		-			

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
団体	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	新型コロナウイルス感染拡大の影響により相生ペーロン祭を始めとした各種イベントが中止となったこともあり、観光客入込数は大幅に減少した。	4
	市民サービス	コロナ禍において市民の観光が抑制される状況において、再度相生市の魅力を認識してもらうために、相生市の観光パンフレット「相生大図鑑」をリニューアルし、全戸配布した。	
効率性	手段の最適性	相生市の観光資源の発掘・PRを行ううえで、市内の様々な事業者で構成される観光協会と一体となって取り組むことが最適である。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	新型コロナウイルス感染拡大の影響により観光PRが行いにくい状況であったが、コロナ禍において実施可能なPRを行った。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	コロナ禍においては通常どおりのイベント実施等が困難であり、ウィズコロナ、ポストコロナに対応した手法を検討する必要がある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	令和2年度に更新した観光協会HPやSNS等を活用した情報発信体制の強化を図る。



配点	32.5
総合評価	22.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040203010200		事業の種類	5	
年度	2	事務事業名	観光費事務経費		予算事業名	観光費事務経費	
まちづくり目標	未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部地域振興課			
施策名(中)	観光の振興を図る		担当課長	宮下 忠和		担当者名	中谷 有輝
取組み事項	観光客を受け入れる体制を充実する		実施計画への記載	無		主要事業の指定	無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民・観光客・観光協会員					
	誰(何)を対象として	市民・観光客・観光協会員観光協会員					
	意図(どのような状態にしたいのか)	相生市観光協会の円滑な運営と、相生市の観光PR活動の促進を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		相生市における観光事業の振興を図ることと共に、効率的にPR効果を高めるため各種広域観光協議会に加盟し共同PRを図り、交流人口を増やすことで、市民文化の高揚、産業発展に寄与する。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	西播磨観光協議会負担金	円	209000	209000	209000	
	西播磨ツーリズム協議会負担金	円	209000	209000	509000	
	ひょうご観光本部負担金	円	110000	110000	110000	
	JR赤穂線沿線地域活性化連絡会議負担金	円	500000	500000	500000	

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比		備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	0.156	0.160	103	0.168	105		
	臨時職員			-		-		
支出内訳	人件費	1,529,444	1,557,109	102	1,508,280	97		
	事業費	1,365,008	1,177,380	86	1,577,880	134		
	合計	2,894,452	2,734,489	94	3,086,160	113		
財源内訳	国庫支出金			-		-		
	県支出金			-		-		
	市債			-		-		
	その他			-		-		
	一般財源	2,894,452	2,734,489	94	3,086,160	113		
合計	2,894,452	2,734,489	94	3,086,160	113			

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		観光入込客数						
指標説明(式)		観光入込客数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
人	目標	640000	640000	100.0	640000	100.0		0.0
	実績	615600	606867	98.6	381919	62.9		
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
	目標			-		-		
	実績			-		-		

【効率性】

指標名1		入込客ひとり当りに係る広域観光協議会負担金							
指標説明(式)		負担金額合計÷観光入込客数							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	1.61	1.61	100.0	2.08	129.2			
	実績	1.67	1.69	101.2	3.48	205.9			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、観光入込客は減少したが、山城である感状山城跡のPRなど、新たな観光資源のPRに西播磨圏域において広域的に取り組んでいる。	3
効率性	負担割合の適正化	コロナ禍において各種イベントが中止となる中においても、SNS等を活用したPR活動や対策事業を実施しており、適正である。	4
	手段の最適性	交通の結末点であり、観光資源の乏しい当市にとって、広域的な協議会でPRに努めることで効率的に業務にあたることができる。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	問題なく進捗している。	4

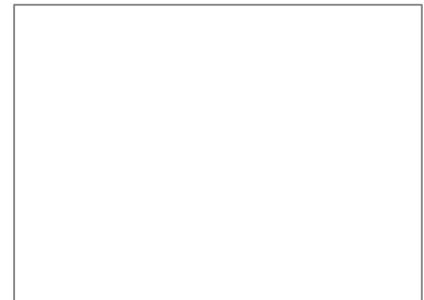
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	他市に比べて観光資源が乏しいため、PRできる内容が限られてきている。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	既存観光資源の見直しや近隣市町との連携により、新たな観光施策を展開する。



配点	32.5
総合評価	23

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040203010400		事業の種類	4	
年度	2	事務事業名	観光PR推進事業		予算事業名	優先度 3	
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部地域振興課		
施策名(中)		観光の振興を図る		担当課長	宮下 忠和	担当者名	中谷 有輝
取組み事項		観光客を受け入れる体制を充実する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名		相生駅前案内所設置事業					
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民・観光客					
	誰(何)を対象として	市民・観光客					
	意図(どのような状態にしたいのか)	SNS等で観光PRを行い、より多くの市民に情報を提供する。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		デジタルコンテンツで観光PRを行うことで、より多くの方に情報を発信する。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	ホームページアクセス数	回	60890	53583	73766	
	ブログアクセス数	回	26273	21071	14832	
	Instagram投稿数	回	-	-	39	

3 投入資源

		会計区分			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103	
	参事以下職員	0.124	0.128	103	0.128	100	
	臨時職員		0.080	-	0.080	100	
支出内訳	人件費	1,291,556	1,524,629	118	1,457,698	96	
	事業費			-		-	
	合計	1,291,556	1,524,629	118	1,457,698	96	
財源内訳	国庫支出金			-		-	
	県支出金			-		-	
	市債			-		-	
	その他			-		-	
	一般財源	1,291,556	1,524,629	118	1,457,698	96	
合計	1,291,556	1,524,629	118	1,457,698	96		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		観光協会ホームページのアクセス数						
指標説明(式)		ホームページアクセス数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
回	目標	105000	100000	95.2	100000	100.0	0.0	
	実績	60890	53583	88.0	73766	137.7		
指標名2		Instagram投稿数						
指標説明(式)		Instagram投稿数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
回	目標	-	-	-	50	-		
	実績	-	-	-	39	-		

【効率性】

指標名1		Instagramいいね数							
指標説明(式)		Instagramへ投稿した記事に対するいいね数							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
件	目標	-	-	-	1000	-			
	実績	-	-	-	937	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	新たな情報提供コンテンツとしてInstagramを導入し、ホームページでフォローしきれないより細かな情報をタイムリーに発信する体制を整えた。	4
	成果の向上	観光協会のホームページを更新し、より見やすく効果的に観光情報を提供できるようになった。また、職員による情報更新が可能となったことで、より迅速に新しい情報を提供できるようになった。	
効率性	コストの節減	ホームページの保守費用等、ある程度のランニングコストはかかるものの、最小限の費用でより効果的な情報発信に努める。	4
	手段の最適性	ホームページでフォローしきれない即時的な情報をSNSを活用してタイムリーに発信できている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	SNSの活用により、きめ細かい情報発信が可能となっている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	現在情報更新をしているSNSコンテンツがInstagramだけであり、より幅広いPRの手法が必要である。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	他のSNSコンテンツの活用等を活用し、広域的なPRを行う。



配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040203010500	事業の種類	4
年度	2	事務事業名	相生市観・交・商連携型地域活性化事業	予算事業名	相生市観・交・商連携型地域活性化事業
		まちづくり目標	未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち	担当部局名	市民生活部地域振興課
		施策名(中)	観光の振興を図る	担当課長	宮下 忠和
		取組み事項	観光客を受け入れる体制を充実する	担当者名	中谷 有輝
			実施計画への記載		主要事業の指定
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規		相生駅前総合情報発信施設設置管理条例			
事業の目的	誰のために(具体的に)	市内の観光、交通、商業者及び市民のため			
	誰(何)を対象として	市民と当市を訪れる人			
	意図(どのような状態にしたいのか)	人口減に伴う市場縮小による市内商業、交通機能(事業者)等の存続危機に対応するため、観光と連携し交流人口(ビジネス・観光客等)を活用し産業と地域の活性化を図る。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		地域の交通拠点であるJR相生駅前の交通機能利用者(交流人口・市民)の利便・快適性を向上し適時の情報提供を行うことで、新たな商機を創出し地域の活性化につなげる。その起点施設として設置した「あいおい情報ラウンジ」を活用した広域的な情報発信を行う。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	駅前イベント実施回数	回	6	4	0	
	観光入込客数	人/年	615600	606867	381919	
	相生駅乗降客数	人/日	6850	6579	4576	
	神姫バス乗車人数	人/日	1117	1156	934	

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比		備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	0.620	0.520	84	0.520	100		
	臨時職員	0.080	0.120	150	0.120	100		
支出内訳	人件費	5,200,340	4,523,509	87	4,221,647	93		
	事業費	6,786,872	3,925,910	58	3,853,054	98		
	合計	11,987,212	8,449,419	70	8,074,701	96		
財源内訳	国庫支出金			-		-		
	県支出金			-		-		
	市債			-		-		
	その他			-		-		
	一般財源	11,987,212	8,449,419	70	8,074,701	96		
合計	11,987,212	8,449,419	70	8,074,701	96			

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		あいおい情報ラウンジ来館者数						
指標説明(式)		年間来館者数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
人	目標	28800	43000	149.3	45000	104.7		
	実績	43035	44906	104.3	24572	54.7		
指標名2		あいおい情報ラウンジ特産品販売額						
指標説明(式)		特産品販売額						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
円	目標	1200000	1200000	100.0	1200000	100.0		
	実績	1163794	997832	85.7	711884	71.3		

【効率性】

指標名1		あいおい情報ラウンジ来館者一人当たりコスト							
指標説明(式)		事業費(人件費除く)÷年間来館者数							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	173	160	92.5	93	58.1			
	実績	159	88	55.3	157	178.4			
指標名2		あいおい情報ラウンジ特産品販売単価							
指標説明(式)		特産品販売額÷年間来館者数							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	42	28	66.7	27	96.4			
	実績	27	22	81.5	29	131.8			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、来館者数は減少したが、感染防止対策を施しながら、来館者に対して観光案内や情報提供を行った。	4
	市民サービス	施設利用者の拡大及び特産品のPRを図るため、相生かきの産地直送の通信販売の受付を行った。市外からも多くの注文があり、PRに繋がった。	
効率性	執行体制の効率性	施設内で観光案内所を運営する相生市観光協会に施設の管理運営を委託し、同じく施設内で業務を行う交通事業者の協力も受け施設運営を行うことで、より効率的で幅広いニーズに対応した施設運営を行っている。	4
	手段の最適性	JRやバスなどの交通事業者や駅前商店事業者、播磨科学公園都市の理化学総合研究所等と連携し、本施設を拠点とした交流の活性化を図れている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	平成28年度に策定した相生市観・交・商連携型地域活性化計画に基づき、平成30年4月の供用開始以降、順調に運営を行っている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	新型コロナウイルスの影響により、イベントの実施が難しく、民間企業との連携が図りにくい状況であった。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	コロナ禍においても実施可能な連携手法を検討する。



配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040203020100		事業の種類	5	
年度	2	事務事業名	相生ペーロン祭事業		予算事業名	相生ペーロン祭事業 優先度 5	
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部地域振興課		
施策名(中)		観光の振興を図る		担当課長	宮下 忠和		担当者名 立花 大地
取組み事項		交流の活性化を推進する		実施計画への記載	無		主要事業の指定 無
実施計画事業名		ペーロン新艇建造事業			ペーロン乗艇場整備		
		ペーロン100周年記念事業					
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民・観光客					
	誰(何)を対象として	市民・観光客					
	意図(どのような状態にしたいのか)	集客によってにぎわいの場を創出するとともにペーロンを通じた地域の活性化を促進する					

2 事業の概要 Do

実施の概要		相生市最大のイベント相生ペーロン祭を例年5月に開催する。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	観光客	人	120000	120000	0	
	ペーロン競漕参加チーム数	チーム	65	65	0	

3 投入資源

インプット指標		会計区分	一般会計			事業費単位:円			備考
		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比			
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103			
	参事以下職員	0.968	1.344	139	0.744	55			
	臨時職員	0.080	0.084	105	0.090	107			
支出内訳	人件費	7,787,372	10,521,069	135	5,655,546	54			
	事業費	19,828,800	15,825,300	80	5,108,507	32			
	合計	27,616,172	26,346,369	95	10,764,053	41			
財源内訳	国庫支出金			-		-			
	県支出金			-		-			
	市債			-		-			
	その他			-		-			
	一般財源	27,616,172	26,346,369	95	10,764,053	41			
合計	27,616,172	26,346,369	95	10,764,053	41				

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		ペーロン祭観客数						
指標説明(式)		ペーロン祭の観客数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
人	目標	120000	120000	100.0	120000	100.0	0.0	
	実績	120000	120000	100.0	0	0.0		
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
	目標			-		-		
	実績			-		-		

【効率性】

指標名1		ペーロン祭観客数の一人当たりのコスト							
指標説明(式)		事業費/観客数							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	130	170	130.8	121	71.2			
	実績	165	131	79.4	0	0.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
千円	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	祭は開催できなかったが、関係者に動画撮影を依頼し、それらをまとめ、サイト上で公開した。次回以降の祭開催への意識付けとして効果的であった。	4
効率性	コストの節減	中止を決定するまでに必要となった経費のみ、最小限の支出となっている。	3
	手段の最適性	引き続き、露店出店者に係る暴力団対策事務の洗練が課題とされる。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	決定機関である協賛会正副会長を中心に、段階的に中止・延期を適切に決定できた。ペーロンという伝統文化を絶やさないため、競漕のみ時期をずらして開催を計画していたが、感染状況によりやむなく全面中止となった。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	開催の状況について、マスコミ・関係者・市民へ周知を確実になおかつタイムラグのないよう行う必要がある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	新型コロナウイルスの影響を注視しながら、開催時期・規模・有無について適切に判断する。また決定事項について、関係者への通知を迅速に行う。

配点	32.5
総合評価	27

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040203020200		事業の種類	5	
年度	2	事務事業名	羅漢の里もみじまつり事業		予算事業名	羅漢の里もみじまつり事業 優先度 3	
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部地域振興課		
施策名(中)		観光の振興を図る		担当課長	宮下 忠和		担当者名 立花 大地
取組み事項		交流の活性化を推進する		実施計画への記載	無		主要事業の指定 無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民・観光客					
	誰(何)を対象として	市民・観光客					
	意図(どのような状態にしたいのか)	集客によってにぎわいの場を創出する					

2 事業の概要 Do

実施の概要		11月第2日曜日に矢野町瓜生の自然を利用したイベントとして、市民参加型のかかしコンテストやステージイベント、各種バザーなどを実施する。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	観客数	人	12000	12000	0	
	かがし出品数	体	1000	1000	0	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103	
	参事以下職員	0.512	0.552	108	0.520	94	
	臨時職員	0.200	0.208	104	0.160	77	
支出内訳	人件費	4,729,748	4,984,389	105	4,331,757	87	
	事業費	1,940,000	1,920,000	99	140,722	7	
	合計	6,669,748	6,904,389	104	4,472,479	65	
財源内訳	国庫支出金			-		-	
	県支出金			-		-	
	市債			-		-	
	その他			-		-	
	一般財源	6,669,748	6,904,389	104	4,472,479	65	
合計	6,669,748	6,904,389	104	4,472,479	65		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		もみじまつり観客数						
指標説明(式)		もみじまつり当日(土日)の観客						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
人	目標	12000	12000	100.0	12000	100.0	0.0	
	実績	12000	12000	100.0	0	0.0		
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
	目標			-		-		
	実績			-		-		

【効率性】

指標名1		もみじまつり観客数の一人当たりのコスト							
指標説明(式)		(事業費+人件費)/観客数							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	508	550	108.3	532	96.7			
	実績	555	575	103.6	0	0.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	地元自治会代表も参加する実行委員会により、中止を決定した。	4
効率性	執行体制の効率性	イベントコーナーの分散化により、会場全体の人の流れがスムーズになるような設置が必要となる。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	地元自治会代表も参加する実行委員会により、中止を決定した。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	開催の状況について、マスコミ・関係者・市民へ周知を確実になおかつタイムラグのないよう行う必要がある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	新型コロナウイルスの影響を注視しながら、時期・規模・有無について適切に判断する。また決定事項について、関係者へ迅速に通知する。農業祭との両立を目指す

配点	32.5
総合評価	22

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040203020300		事業の種類	5	
年度	2	事務事業名	相生かきまつり補助事業		予算事業名	相生かきまつり事業 優先度 3	
		まちづくり目標	未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部地域振興課	
		施策名(中)	観光の振興を図る		担当課長	宮下 忠和 担当者名 立花 大地	
		取組み事項	交流の活性化を推進する		実施計画への記載	無 主要事業の指定 無	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民・観光客					
	誰(何)を対象として	市民・観光客					
	意図(どのような状態にしたいのか)	集客によってにぎわいの場を創出する					

2 事業の概要 Do

実施の概要		相生市の特産である牡蠣を全国にPRしていくため、焼き牡蠣コーナーや各種バザー、ステージイベントを実施する。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	観客数	人	20000	20000	0	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103	
	参事以下職員	0.456	0.280	61	0.292	104	
	臨時職員	0.200	0.204	102	0.180	88	
支出内訳	人件費	4,313,444	2,964,109	69	2,843,251	96	
	事業費	680,000	673,000	99	660,000	98	
	合計	4,993,444	3,637,109	73	3,503,251	96	
財源内訳	国庫支出金			-		-	
	県支出金			-		-	
	市債			-		-	
	その他			-		-	
	一般財源	4,993,444	3,637,109	73	3,503,251	96	
合計	4,993,444	3,637,109	73	3,503,251	96		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		かきまつり観客数						
指標説明(式)		かきまつり当日の観客数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
人	目標	20000	20000	100.0	20000	100.0	0.0	
	実績	20000	20000	100.0	0	0.0		
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
	目標			-		-		
	実績			-		-		

【効率性】

指標名1		かきまつり来場者の一人当たりのコスト							
指標説明(式)		事業費/来場者数							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	159	185	116.4	173	93.5			
	実績	249	182	73.1	0	0.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	新型コロナウイルスの影響により発生した、巣ごもり需要の増加に合わせたキャンペーンにより、相生かきのPRを効果的に行うことができた。	4
効率性	執行体制の効率性	相生牡蠣のブランドを高めることで、効率的に水産業の活性化を進めることが出来る。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	相生牡蠣のブランド化を進める必要がある	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	発注者の適切な管理のため、事務局・漁業者・受付窓口の円滑な連携が必要となる。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	新型コロナウイルスの影響を注視しながら、開催時期・規模・有無について適切に判断する。また決定事項について、関係者への通知を迅速に行う。

配点	32.5
総合評価	23

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040203020400		事業の種類	5	
年度	2	事務事業名	相生ペーロン振興事業		予算事業名	相生ペーロン振興事業 優先度 3	
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部地域振興課		
施策名(中)		観光の振興を図る		担当課長	宮下 忠和		担当者名 立花 大地
取組み事項		交流の活性化を推進する		実施計画への記載	無		主要事業の指定 無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民・観光客					
	誰(何)を対象として	市民・観光客					
	意図(どのような状態にしたいのか)	集客によってにぎわいの場を創出する					

2 事業の概要 Do

実施の概要		ペーロン文化の普及啓発と後継者育成のため市内小学生等を対象に体験乗船会を実施する。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	体験乗船参加者数	人	2625	2561	0	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103	
	参事以下職員	0.184	0.376	204	0.120	32	
	臨時職員	0.188	0.200	106	0.080	40	
支出内訳	人件費	2,258,168	3,663,349	162	1,403,538	38	
	事業費	550,000	550,000	100	200,000	36	
	合計	2,808,168	4,213,349	150	1,603,538	38	
財源内訳	国庫支出金			-		-	
	県支出金			-		-	
	市債			-		-	
	その他			-		-	
	一般財源	2,808,168	4,213,349	150	1,603,538	38	
合計	2,808,168	4,213,349	150	1,603,538	38		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		体験乗船参加者数						
指標説明(式)		こどもの日、前夜祭、市内の幼、小、中、高校生及び、市外の参加者数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
人	目標	2500	2500	100.0	2500	100.0	0.0	
	実績	2625	2561	97.6	0	0.0		
指標名2		体験乗船実施回数						
指標説明(式)		こどもの日、前夜祭、市内の幼、小、中、高校及び、市外の実施回数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
回	目標	20	20	100.0	20	100.0		
	実績	18	17	94.4	0	0.0		

【効率性】

指標名1		参加者1人当たりにかかるコスト							
指標説明(式)		事業費(人件費除く)÷参加者数							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	220	220	100.0	220	100.0			
	実績	210	215	102.4	0	0.0			
指標名2		実施1回にかかるコスト							
指標説明(式)		事業費(人件費除く)÷実施回数							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	27500	27500	100.0	27500	100.0			
	実績	30556	32353	105.9	0	0.0			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	新型コロナウイルスの影響で体験乗船は中止となったが、艇の管理等は年間を通して継続的に行った。	3
効率性	手段の最適性	ペーロン文化の普及・啓発、後継者育成のため、市内小中学生を対象とした体験乗船事業を行うためには、ノウハウを持つ相生ペーロン協会へ助成をするのは妥当である。	3
	コストの節減	体験乗船に係る費用については、艇使用料・指導料(スタッフ)・警備艇の経費であり、コストは概ね適正であるが、ウイズコロナ時代の事業として、より効率的かつ安全に内容の濃い事業を実施する必要がある。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	新型コロナウイルスの影響で屋外体験型プログラムの需要は高まっているものの、同時に県内での感染者数は増加しており、安全対策の面からやむなく事業が実施できなかった。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	協力者の高齢化も進んでいることから、指導者等の若返りを図る必要がある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	旅行会社等との連携により、より多くの団体が利用しやすい料金体系や受入体制を整える。また、感染対策により安全な事業実施を目指す。



配点	32.5
総合評価	21

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040203020700		事業の種類	4		
年度	2	事務事業名	ペーロン海館管理事業		予算事業名	ペーロン海館管理事業	優先度	3
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部地域振興課			
施策名(中)		観光の振興を図る		担当課長	宮下 忠和	担当者名	中谷 有輝	
取組み事項		交流の活性化を推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規		相生市立相生ペーロン海館の設置及び管理に関する条例						
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民・観光客						
	誰(何)を対象として	市民・観光客						
	意図(どのような状態にしたいのか)	相生ペーロンの振興のため、伝統文化の継承と交流の促進を図ることを目的とした相生ペーロンの拠点施設として設置し運営する。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		①ペーロン艇(14艇)の管理、②ペーロンの練習・交流の場、③体験乗船会の実施 ④市民・観光客の見学観光施設、⑤拡張利用(他のマリンスポーツ利用、会議室等の貸館)				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	開館日	日	231	221	177	
	利用人数(全体)	人	11543	9626	2613	
	利用人数(市内)	人	10540	8524	1911	
	利用人数(市外)	人	1003	1102	702	

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比		備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	0.340	0.020	6	0.040	200		
	臨時職員		0.040	-	0.020	50		
支出内訳	人件費	2,897,300	624,509	22	696,775	112		
	事業費	3,942,365	3,237,662	82	2,434,357	75		
	合計	6,839,665	3,862,171	56	3,131,132	81		
財源内訳	国庫支出金			-		-		
	県支出金			-		-		
	市債			-		-		
	その他			-		-		
	一般財源	6,839,665	3,862,171	56	3,131,132	81		
	合計	6,839,665	3,862,171	56	3,131,132	81		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		ペーロン海館利用人数						
指標説明(式)		利用人数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
人	目標	12000	12000	100.0	12000	100.0		0.0
	実績	11543	9626	83.4	2613	27.1		
指標名2		ペーロン海館一日当たりの利用者数						
指標説明(式)		利用人数/開館日						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
人	目標	50	50	100.0	50	100.0		
	実績	50	44	88.0	15	34.1		

【効率性】

指標名1		ペーロン海館利用者の一人当たりのコスト							
指標説明(式)		管理経費/利用者数							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	393	284	72.3	305	107.4			
	実績	341	336	98.5	932	277.4			
指標名2		利用者のうち市外利用者の割合							
指標説明(式)		(利用人数(市外)/利用人数(全体))×100 ※一般利用者については令和2年8月よりカウント開始							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
%	目標	20	20	100.0	20	100.0			
	実績	8.7	11.4	131.0	26.9	236.0			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	例年、ペーロン競漕の練習や体験乗船、観光客の見学などで多くの方が施設を訪れ、活用がなされている。ペーロン祭中止による利用の減や、緊急事態宣言による閉館時期があったため、年間の稼働日は減少した。	4
	市民サービス	拠点施設として整備したことにより、艇庫、交流の場、体験乗船への対応等を1か所にまとめることで、交流拠点としての機能を果たしている。	
効率性	執行体制の効率性	管理を相生市観光協会に委託しているが、見学者の受付や船の管理、クレーン等設備の操作について、ペーロンを熟知したペーロン協会員を雇用し運営することで効率的かつ生きた活用ができています。	4
	コストの節減	一括拠点施設としたことに伴い、それぞれの機能に付随する総経費の圧縮を図るため、体験乗船会の運営方法についてペーロン協会とともに協議し、費用面を考慮した新たな運営方法の検討を行っている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	相生ペーロン海館の活用、体験乗船の運営について、ペーロン協会員で構成される相生ペーロン海館運営部会を設け協議を行う予定であったが、新型コロナウイルスの影響により部会を開催できていない。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	屋外での体験プログラムに注目が集まっていることから、体験乗船を核としてより多様な活用方法を検討する必要がある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	成果の向上	海館利用を促進するため、ペーロン体験乗船を筆頭に、マリンスポーツ全般の拠点としての運営を行っていく。



配点	32.5
総合評価	24.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040203020800		事業の種類	4	
年度	2	事務事業名	道の駅管理運営事業		予算事業名	道の駅管理運営事業	
		まちづくり目標	未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部地域振興課	
		施策名(中)	観光の振興を図る		担当課長	宮下 忠和	
		取組み事項	交流の活性化を推進する		担当者名	中谷 有輝	
			実施計画への記載		無	主要事業の指定	
			無		無		
実施計画事業名		道の駅管理運営					
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民・観光客					
	誰(何)を対象として	市民・観光客					
	意図(どのような状態にしたいのか)	道の駅で市民・観光客の交流をし、賑わいの場となる。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		道の駅白龍城((株)あいおいアクアポリス)に道の駅の管理運営を委託する。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	道の駅管理経費	円	5328388	5353297	5695904	
	道の駅利用者数	人	137146	125884	114704	
	白龍城全体利用者数	人	293809	276618	226742	
	市内観光地入込客数	人	460600	451867	381919	

3 投入資源

		会計区分	一般会計				事業費単位:円	
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考	
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	0.052	0.032	62	0.032	100		
	臨時職員		0.020	-	0.020	100		
支出内訳	人件費	756,308	662,189	88	642,615	97		
	事業費	5,375,388	5,400,297	100	28,100,404	520		
	合計	6,131,696	6,062,486	99	28,743,019	474		
財源内訳	国庫支出金			-		-		
	県支出金			-		-		
	市債			-		-		
	その他			-		-		
	一般財源	6,131,696	6,062,486	99	28,743,019	474		
合計	6,131,696	6,062,486	99	28,743,019	474			

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		道の駅利用者数						
指標説明(式)		道の駅利用者数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
人	目標	150000	150000	100.0	150000	100.0		0.0
	実績	137146	125884	91.8	114704	91.1		
指標名2		白龍城全体利用者数						
指標説明(式)		白龍城全体利用者数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
人	目標	300000	300000	100.0	300000	100.0		
	実績	293809	276618	94.1	226742	82.0		

【効率性】

指標名1		道の駅利用者の一人当たりのコスト							
指標説明(式)		管理経費/道の駅利用者数							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	40	40	100.0	40	100.0			
	実績	39	43	110.3	50	116.3			
指標名2		市内観光地入込客数における白龍城利用者の割合							
指標説明(式)		(白龍城全体利用者/市内観光地入込客数) × 100							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
%	目標	70.0	70.0	100.0	70.0	100.0			
	実績	63.8	61.2	95.9	59.4	97.1			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、市内全体として観光客が減少している中、主に市民の利用が多いペーロン温泉についても休業等の影響もあり、利用者は減少した。	4
	市民サービス	売場ブースについては多くの市民及び観光客が来場されるが、アプト張りや衛生面に課題があり、老朽化が進んでいる。しかし、同じく老朽化が進んでおりコロナ禍において衛生面に問題のあったトイレについては、抗菌仕様とした改修を行った。	
効率性	コストの節減	維持管理にかかる委託料は、据え置かれているが、施設の老朽化に伴い改修経費が必要である。	4
	手段の最適性	施設管理は、トイレ、情報コーナー、駐車場の道の駅の各機能について、白龍城を運営する(株)あいおいアクアポリスに委託することにより、施設全体の一貫性もあり、適正に実施できている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	維持管理委託契約に基づき適正に運営されている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	類似施設の台頭、施設の老朽化等により利用者数は減少傾向にある。老朽化対策等、衛生対策を講じ、利用者に対して心地よい空間を提供する必要がある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	道の駅として利用者が利用しやすい空間を提供、魅力ある施設とするため、機能強化基本構想をもとに、アクアポリスと連携し、対策を講じる。



配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040203020900		事業の種類	6	
年度	2	事務事業名	ペーロン海館建設事業		予算事業名	優先度	
		まちづくり目標	未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部地域振興課	
		施策名(中)	観光の振興を図る		担当課長	宮下 忠和	担当者名
		取組み事項	交流の活性化を推進する		実施計画への記載	有	主要事業の指定
		実施計画事業名	新ペーロン艇庫建設				無
		根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民・観光客					
	誰(何)を対象として	市民・観光客					
	意図(どのような状態にしたいのか)	ペーロン船の格納場所としてだけでなく、ペーロン船の利用を促進し・見学する観光客・市民の憩いの場、新たな観光拠点とすること。					

2 事業の概要 Do

実施の概要	相生港臨海部活性化基本計画に基づき新ペーロン艇庫を建設し、ペーロンの振興、観光拠点の整備を図る。					
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	

3 投入資源

		会計区分					事業費単位:円
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103	
	参事以下職員			-		-	
	臨時職員		0.020	-		0	
支出内訳	人件費	369,740	425,709	115	370,920	87	
	事業費			-		-	
	合計	369,740	425,709	115	370,920	87	
財源内訳	国庫支出金			-		-	
	県支出金			-		-	
	市債			-		-	
	その他			-		-	
	一般財源	369,740	425,709	115	370,920	87	
	合計	369,740	425,709	115	370,920	87	

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		説明会の回数						
指標説明(式)		地元説明会の開催回数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
	目標	0	-	-	-	-	-	
	実績	0	-	-	-	-	-	
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
	目標			-		-	-	
	実績			-		-	-	

【効率性】

指標名1		設計委託に係るコンサル活用							
指標説明(式)		打合せ会数							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標	0	-	-	-	-			
	実績	0	-	-	-	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	期待する目標	施設機能の充実を図り、相生の伝統文化であるペーロンの振興を図る。	
効率性	手段の最適性	指名入札により、業者選定を行った。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	艇庫棟等の建設工事及び工事監理委託を行った。	

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容

配点	32.5
総合評価	0

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040203021000		事業の種類	9		
年度	2	事務事業名	第三セクター事業		予算事業名	優先度		
		まちづくり目標	未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	企画総務部企画広報課		
		施策名(中)	観光の振興を図る		担当課長	大西 博之	担当者名	石井 義宏
		取組み事項	交流の活性化を推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	白龍城等の利用者						
	誰(何)を対象として	第三セクター						
	意図(どのような状態にしたいのか)	健全経営の実現を求め、相生湾の観光・レクリエーションを促進し、にぎわいの場とする。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		健全経営の実現を求め、観光・レクリエーションを敷く新し、にぎわいの場の拠点とする。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	株式取得		-	-	-	

3 投入資源

		会計区分			事業費単位:円			
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考	
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	0.016	0.016	100	0.048	300		
	臨時職員			-		-		
支出内訳	人件費	488,684	492,949	101	695,880	141		
	事業費			-		-		
	合計	488,684	492,949	101	695,880	141		
財源内訳	国庫支出金			-		-		
	県支出金			-		-		
	市債			-		-		
	その他			-		-		
	一般財源	488,684	492,949	101	695,880	141		
合計	488,684	492,949	101	695,880	141			

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		ペーロン城入場者数						
指標説明(式)		ペーロン城(温泉・飲食・物販)への入場者数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
人	目標	400,000	400,000	100.0	400,000	100.0	0.0	
	実績	291,907	276,618	94.8		0.0		
指標名2		取締役会等への出席回数						
指標説明(式)		あいおいアクアポリス(株)の取締役として相生市が出席した回数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
回	目標	3		0.0		-		
	実績	4		0.0		-		

【効率性】

指標名1		入場者数等の報告回数							
指標説明(式)		温泉、飲食、物販に対する入場者数、売上額などの報告回数							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
回	目標	-	-	-	-	-			
	実績	12	12	100.0		0.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性			
効率性			
進捗状況	事業計画に対する進捗状況		

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容

配点	32.5
総合評価	8

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040203021100	事業の種類	4
年度	2	事務事業名	ふるさと応援大使活用事業	予算事業名	ふるさと応援大使活用事業 優先度 3
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち	担当部局名	市民生活部地域振興課	
施策名(中)		観光の振興を図る	担当課長	宮下 忠和	担当者名 中谷 有輝
取組み事項		交流の活性化を推進する	実施計画への記載	主要事業の指定	
実施計画事業名					
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民			
	誰(何)を対象として	全国の相生市を応援してくれる人々			
	意図(どのような状態にしたいのか)	相生市に移住、定住、ふるさと応援寄付をしてくれる人を増やす。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		ふるさと応援大使(出水麻衣、みなとの女王OG、ど根性大根大ちゃん)の各自の働きにより、市の知名度を上げる。また、その活動の中で、市のイベントや特産品等のPRを行う。			
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績
	キャンペーン実施回数	回	2	2	0
	ど根性大根大ちゃん活用回数	回	17	12	4

3 投入資源

インプット指標		会計区分 一般会計			事業費単位:円			備考
		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比		
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	0.112	0.112	100	0.128	114		
	臨時職員		0.040	-	0.024	60		
支出内訳	人件費	1,202,348	1,304,389	108	1,303,545	100		
	事業費	353,380	486,000	138	200,000	41		
	合計	1,555,728	1,790,389	115	1,503,545	84		
財源内訳	国庫支出金			-		-		
	県支出金			-		-		
	市債			-		-		
	その他			-		-		
	一般財源	1,555,728	1,790,389	115	1,503,545	84		
合計	1,555,728	1,790,389	115	1,503,545	84			

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		観光PRキャンペーンの回数						
指標説明(式)		回数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
回	目標	2	4	200.0	2	50.0	0.0	
	実績	2	2	100.0	0	0.0		
指標名2		ど根性大根大ちゃん活用回数						
指標説明(式)		回数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
回	目標	10	10	100.0	10	100.0		
	実績	17	12	70.6	4	33.3		

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、観光キャンペーンについては実施ができなかったが、市の観光事業において、ノベルティとして大ちゃんグッズを配布したり、各メディアに出演したりと、積極的なPRを行った。	4
	市民サービス	観光イベントのみならず、市の様々な行事において大ちゃんを活用することで、市のPRや広報に繋げている。	
効率性	手段の最適性	令和2年度末現在、10名のふるさと応援大使を任命しているが、実質的に活動しているのはど根性大根だいちゃんのみである。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	相生市ふるさと応援大使設置要綱に基づき、継続して新たなふるさと応援大使を任命している。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	大ちゃん以外のふるさと応援大使をうまく活用できていない。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	ふるさと応援大使の効果的な活用方法を検討する。

配点	32.5
総合評価	20.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040203030100		事業の種類	4	
年度	2	事務事業名	ふるさと交流館管理事業		予算事業名	ふるさと交流館管理事業 優先度 4	
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	建設農林部農林水産課		
施策名(中)		観光の振興を図る		担当課長	長治 宏幸		担当者名 中野 聡
取組み事項		レクリエーション施設の整備とネットワークづくりを行う		実施計画への記載	有		主要事業の指定 無
実施計画事業名		ふるさと交流館管理事業					
根拠法規及び関連法規		相生市ふるさと交流館の設置及び管理に関する条例					
事業の目的	誰のために(具体的に)	地域住民及び施設利用者					
	誰(何)を対象として	地域住民及び施設利用者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	自然環境、歴史学習、農林業体験等を通じて、市民の自主的な学習活動と多様な交流の促進及び教養、文化の高揚並びに地域の農業振興を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		ふるさと交流館において、田植え体験や芋掘り体験などの色々な活動を行うことと、都市と農村の交流を図ることにより、地域の活性化を図る。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	交流館利用者数	人	4,645	4581	1823	

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考	
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	0.120	0.100	83	0.116	116		
	臨時職員			-		-		
支出内訳	人件費	1,261,820	1,113,709	88	1,156,240	104		
	事業費	7,763,776	7,849,220	101	10,315,464	131		
	合計	9,025,596	8,962,929	99	11,471,704	128		
財源内訳	国庫支出金			-		-		
	県支出金			-		-		
	市債			-		-		
	その他			-		-		
	一般財源	9,025,596	8,962,929	99	11,471,704	128		
合計	9,025,596	8,962,929	99	11,471,704	128			

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		利用者数						
指標説明(式)		施設利用者の人数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
人	目標	5,500	5,500	100.0	5,500	100.0	100.0	
	実績	4,645	4,581	98.6	1823	39.8		
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
	目標			-		-		
	実績			-		-		

【効率性】

指標名1		来場者一人あたりの経費							
指標説明(式)		管理経費 ÷ 利用者数							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	1,500	1,500	100.0	1,500	100.0			
	実績	1,943	1,957	100.7		0.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	利用者の増加や飲食収入の確保等により、施設での利益確保が図れた。	4
	市民サービス	アンケート調査の反映するなど食事メニューの定期的な見直しによりサービス向上を図った。	
効率性	コストの節減	利用率を上げ、コスト削減を行う必要がある。	3
	執行体制の効率性	、市への連絡・報告体制の強化や、利益を生み出す経営に努めた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	指定管理者における運営は概ね良好である。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	施設の老朽化に伴う、計画的な修繕の必要性及び予算化。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	施設及び設備の修繕計画の作成を検討する。

配点	32.5
総合評価	25

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040203030200	事業の種類	4
年度	2	事務事業名	羅漢の里管理事業	予算事業名	羅漢の里管理事業 優先度 3
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	建設農林部農林水産課
施策名(中)		観光の振興を図る		担当課長	長治 宏幸 担当者名 松下 亮太
取組み事項		レクリエーション施設の整備とネットワークづくりを行う		実施計画への記載	有 主要事業の指定 無
実施計画事業名		羅漢の里整備事業			
根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民			
	誰(何)を対象として	羅漢の里の施設			
	意図(どのような状態にしたいのか)	羅漢の里を整備、管理し、憩いと安らぎの場の提供とともに、観光の振興に寄与する施設とする。			

2 事業の概要 Do

実施の概要		羅漢の里の施設管理及び委託業務			
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績
	利用者数(市民)	人	3540	3030	1930
	利用者数(市外)	人	20086	19797	9678
	整備箇所	箇所	5	5	2
	整備事業費	円	8995320	3633518	3215300

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考	
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	0.108	0.148	137	0.148	100		
	臨時職員		0.020	-	0.020	100		
支出内訳	人件費	1,172,612	1,519,429	130	1,427,935	94		
	事業費	11,407,035	6,531,786	57	8,331,252	128		
	合計	12,579,647	8,051,215	64	9,759,187	121		
財源内訳	国庫支出金			-	0	-		
	県支出金			-	0	-		
	市債			-	0	-		
	その他			-	0	-		
	一般財源	12,579,647	8,051,215	64	9,759,187	121		
合計	12,579,647	8,051,215	64	9,759,187	121			

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		利用者数						
指標説明(式)		コテージ、テント村等利用者数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
人	目標	22000	22000	100.0	22000	100.0	100.0	
	実績	23626	22828	96.6	11608	50.8		
指標名2		稼働率(コテージ)						
指標説明(式)		年間利用件数÷359日×10棟						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
%	目標	22	22	100.0	22	100.0		
	実績	26.4	25.6	97.0	17.1	66.8		

【効率性】

指標名1		利用者1人当たりコスト							
指標説明(式)		事業費 ÷ 利用者							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	519	316	60.9	300	94.9			
	実績	483	286	59.2	718	251.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	指定管理者による自主事業が実施されることにより、更なる市民サービスの向上へと繋がっている。 また、コテージ等老朽化に伴う修繕について、適宜迅速に対応出来た。	2
	成果目標(改善)達成度	利用者数は、新型コロナウイルス感染症の影響により、前年度の約半数となった。	
効率性	コストの節減	平成29年度より、民間の指定管理者としているが、施設が老朽化しているためコスト縮減はこれからの課題である。	4
	手段の最適性	指定管理者制度によるサービス向上による、効率的な管理運営がされているため、引き続き指定管理者制度による運営を行う。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	新型コロナウイルス感染症の影響により、計画よりも遅れている。	2

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	老朽化施設の維持管理及び更新

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市民ニーズ	利用者のニーズに合った施設の運営管理

配点	32.5
総合評価	20

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040204010100		事業の種類	5	
年度	2	事務事業名	匠の技(造船技術)継承事業		予算事業名	匠の技(造船技術)継承事業 優先度 3	
		まちづくり目標	未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部地域振興課	
		施策名(中)	地域に根ざした工業の強化を図る		担当課長	宮下 忠和 担当者名 中谷 有輝	
		取組み事項	地域ものづくり基盤の強化を図る		実施計画への記載	無 主要事業の指定 無	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	造船関連企業従業員					
	誰(何)を対象として	造船関連企業従業員が必要とする高度な技術の習得					
	意図(どのような状態にしたいのか)	相生市の基幹産業である造船業を支えてきた団塊の世代が培ってきた貴重な経験や高い技術が、退職を機に失われることのないよう、新たな世代に継承する。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		相生技能研修センターが実施する造船技術継承を目的とした専門技能研修への補助				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	研修受講者数(延べ)	人	206	202	182	
	受講企業数(延べ)	社	25	19	11	
	相生技能研修センター運営協議会決算額	円	5977673	6286053	3972610	

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考	
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	0.020	0.020	100	0.020	100		
	臨時職員			-		-		
支出内訳	人件費	518,420	522,509	101	506,320	97		
	事業費	200,000	200,000	100	200,000	100		
	合計	718,420	722,509	101	706,320	98		
財源内訳	国庫支出金			-		-		
	県支出金			-		-		
	市債			-		-		
	その他			-		-		
	一般財源	718,420	722,509	101	706,320	98		
合計	718,420	722,509	101	706,320	98			

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		相生技能研修センター研修受講者数						
指標説明(式)		研修受講者数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
人	目標	250	240	96.0	230	95.8	0.0	
	実績	206	202	98.1	182	90.1		
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
	目標			-		-		
	実績			-		-		

【効率性】

指標名1		受講者一人当たり補助金							
指標説明(式)		事業費(人件費除く)÷研修受講者数							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	800	833	104.1	870	104.4			
	実績	971	990	102.0	1099	111.0			
指標名2		協議会事業費に対する市の負担割合							
指標説明(式)		(協議会決算額÷市補助金)×100							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
%	目標	3.0	3.1	103.3	3.4	109.7			
	実績	3.3	3.2	97.0	5.0	156.3			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	造船技能の継承は、相生の基幹産業を担うためには不可欠である。	4
効率性	負担割合の適正化	運営協議会事業費に占める市の負担割合は概ね一定であるが、令和2年度は新型コロナウイルスの影響による研修の中止など、協議会事業費が減少したため負担割合が増加した。	3
	手段の最適性	市の基幹産業である造船業を支えてきた高度な技能の継承にあたっては、造船に携わってきたIHIグループ関連企業で構成される当協議会と相生商工会議所と市が連携して取り組むことが最適である。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	会員企業のほか、会員以外の関連企業からも受講者を募り、技能の継承に積極的に取り組んでいる。	4

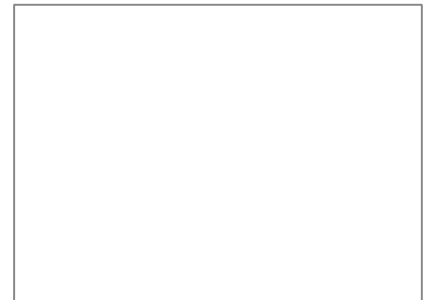
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	市として当協議会の研修内容や活動について周知していく必要がある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	当協議会の研修内容や活動についてPRを行う。



配点	32.5
総合評価	23

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	040204020100		事業の種類	4	
年度	2	事務事業名	中小企業小額資金融資事業		予算事業名	中小企業小額資金融資事業 優先度 3	
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち		担当部局名	市民生活部地域振興課		
施策名(中)		地域に根ざした工業の強化を図る		担当課長	宮下 忠和		担当者名 中谷 有輝
取組み事項		中小企業の経営改善強化に向けた支援をする		実施計画への記載	無		主要事業の指定 無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市中小企業小額資金融資要綱 相生市中小企業小額資金融資保証料補助金交付要綱					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市内の中小企業者					
	誰(何)を対象として	市内に事業所又は営業所を有する中小企業者のうち市税を完納し、原則として同一事業を1年以上引続き営んでいる者で、相生市中小企業小額資金融資を受けた事業者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	信用保証手数料を補給することにより借手中小企業者の借入負担を軽減し、当該融資を活発化し、売上減少による影響及び倒産の防止を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		市制度融資事務として、保証契約事務(信用保証協会)、金融機関との覚書の締結(指定金融機関)、融資申込み受付、融資依頼を行い、利子補給事務として、保証期間5年以内、保証金額1,000万円を限度に算出した保証協会の保証料を15万円(5年間で1回の申請のみ)を限度と					
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績		
	融資総額	千円	18500	37500	5000		
	保証料補助額	円	223817	232275	0		

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103	
	参事以下職員	0.036	0.036	100	0.036	100	
	臨時職員			-		-	
支出内訳	人件費	637,364	640,749	101	614,640	96	
	事業費	223,817	232,275	104	0	0	
	合計	861,181	873,024	101	614,640	70	
財源内訳	国庫支出金			-		-	
	県支出金			-		-	
	市債			-		-	
	その他			-		-	
	一般財源	861,181	873,024	101	614,640	70	
合計	861,181	873,024	101	614,640	70		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		市制度融資件数						
指標説明(式)		件数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
件	目標	10	10	100.0	10	100.0	0.0	
	実績	6	7	116.7	1	14.3		
指標名2		保証料補助件数						
指標説明(式)		件数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	備考	
件	目標	10	10	100.0	10	100.0		
	実績	4	5	125.0	0	0.0		

【効率性】

指標名1		1件当たりの保証料補助額							
指標説明(式)		保証料補助額/保証件数							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	125000	100000	80.0	120000	120.0			
	実績	55954	46455	83.0	0	0.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	新型コロナウイルス感染症の影響により業績の悪化している中小企業に対して、国、県によりより有利な融資制度が創設されたことから、当市の融資制度の活用はほとんどなかった。	3
	市民サービス	市内の経済活性化は市行政に直結し、市民生活の向上に繋がる。コロナ禍においては国、県等の有利な融資制度について事業者にも周知するよう努めている。	
効率性	手段の最適性	市内金融機関と連携し、融資制度の周知と活用を図っている。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	新型コロナウイルス感染症の影響により業績の悪化している中小企業に対して、国、県によりより有利な融資制度が創設されたことから、当市の融資制度の活用はほとんどなかった。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	新型コロナウイルスの影響により、当市の融資制度の活用はほとんどなかった。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	本融資制度の周知とPRはもとより、国、県においての事業者向け支援施策について、市内金融機関の融資担当者と情報交換を行い、ひろく周知を行う。

配点	32.5
総合評価	19.5